

特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場

## 2022年度（第17年度） 事業報告

（2021年11月1日～2022年10月31日）

## 【2022 年度事業の基本方針について】

会員の皆様におかれましては、コロナ禍が長引く中で如何お過ごしでしょうか。

今年度も会員の皆様には心よりせん杜を支えていただき有難うございました。

第8波が子どもたちとその家族に猛威を振るっていますが、コロナ禍の3年間、マスク着用での新しい生活様式で勉学と日常生活を頑張ってきた子どもたちにはエールを送りたいところです。このような状況の中ではありますが、2022年度通常総会是对面式で行うことと致しました。

今年度の当法人自主事業につきましては、子どもの体験と鑑賞事業を思うように形にすることはできませんでした。せん杜が行った自主事業は、年間を通した「ママパパライン仙台」と状況に応じて集まった「人形劇サークルちょこタイム」、「仙台市内&石巻圏域のジュニアリーダー交流と研修」でした。

今年こそは東日本大震災後の被災地支援を実施する！の意識で臨みましたが、「杜の子まつりin石巻」は参加者が応募し始めた9月に中止を決定いたしました。家族で体験できない状況が続いている「こんな時こそ実施しよう」という気持ちがあった半面、コロナ禍の勢いが子どもたちの健康を脅かしている現状が目の前にありました。不安を脳裏に抱きながらの開催よりも皆が安心して楽しめる開催を！という判断で中止とした次第です。

しかしながら、私たちはこのような状況でも大きな学びを得ました。杜の子まつりin石巻の全てを実施することはできなかったものの、行政との協働から生まれた震災当時のジュニアリーダーの思いは継承できたこと、コロナ禍の中でもガイドラインを学習し参加者を迎え入れる具体的な準備と導線の確保、電子的応募とその対応の仕方を肌身で感じ手応えを共有できたことです。また、5月から水面下で事務局と共に関係諸機関へ出向き実施に向け調整してきましたが、事務局が児童館の現場や社会から学び、現在の状況を客観的に見る・知るというプロセスを丁寧に積み上げたことがスキルアップにつながったことを申し添えます。もう一つの自主事業であるママパパラインはコロナ禍の中でも年間を通して開設できました。受け手の皆さんは市民ボランティアですが、乳幼児から学童期の子どもの保護者からの電話に寄り添って下さいました。

児童館指定管理と児童クラブ運営受託事業は、長引くコロナ禍の状況変化に左右された一年となりました。10月より乳幼児親子と自由来館児童の利用時間制限は緩やかになりましたが、消毒作業と三密を避けた上での調整を「現場」に課せられる状況は変わっていません。この矛盾を抱え、スタッフの皆さんは緊張感が途切れることなく日々の業務に携わっています。

コロナ禍の中で、子どもとその家族は行動を制限せざるを得ず、その結果様々な状況が見えてきました。家族の時間を大切にできたことは榴岡・新田児童館が利用者へ行ったアンケートに如実に出ています。一方で、友達とあそび・思い切り体を動かす・人との出会いなどが不足し、子どもの年齢上の発達に何かしら支障をきたしていることが窺えます。ゲームやスマホなどへの行き過ぎた接触を心配する保護者の心情もありました。おそらくこの結果は社会全体で共通していることだと思います。

さて、せん杜には理事のほか思いを寄せて業務や事業に携わっているスタッフとボランティアが沢山おります。立場は異なりますが、子どもたちとその家族を縁の下で支える意識は同じです。まだまだ制限が続くwithコロナ期ではありますが、「私たちができることは何か」を合言葉に、上述したように疲弊している子どもとその家族が心からほっとできる場所と気持ちが上向きになれるような体験機会をつくるために、せん杜は社会から学ぶ姿勢と真摯に自分と向き合う意識をもって来年度へ踏み出したいと思っております。引き続き、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(特活) せんだい杜の子ども劇場代表理事 斎藤純子

## (1) 芸術文化体験事業

### ① 芸術鑑賞会（仙台市）

今年度は国の新型コロナウイルス感染防止に関するガイドライン等に即して自主事業を具体化していくこととして仙台市内で芸術体験事業を計画していたが、7月から9月にかけて急増したコロナ感染状況の中で特に子ども達に感染が広がりやすい傾向を鑑み開催を見送った。市内数か所の大ホールの大規模修理が続いていることもあり、会場確保が思うようにいかなかったことも影響した。

来年度こそは親子が安心して楽しみ本物の芸術に触れる機会となる様、感染症対策や運営体制を整え鑑賞会実施へ備えたい。

## (2) 子どもの体験事業

### ① 人形劇サークル「ちょこタイム」

コロナ禍の中、実施会場に集まることが難しく野外での活動となった。その中で、読み合わせをし、小道具を作ることができた。作品は未完成となってしまったが、場面を想定した写真撮影を行うことができたが、それをどう活かすかは検討中。現在のサークルメンバーが卒業を控えており、来年度の存続が危ぶまれるところである。

【人形劇「たいせつなもの」小道具づくり】

- 実施日：12/18、4/9（オンライン）、4/17、7/24
- 場所：鶴ヶ谷市民センター・県民の森
- 参加人数：7名

## (3) 子育て支援事業

### ① ママパパライン常設

子育て中の親たちの悩みや不安・イライラした気持ちを電話を通して耳を傾け受け止め、親たちの自己肯定感を高め、子育てに前向きになるよう寄り添う子育て応援ダイヤル。ママパパラインは仙台をはじめ全国7ヶ所で開催している。

【電話開設】

- 実施日：常設：毎週金曜日 50日間（全国キャンペーンを除く）、10時～16時  
全国キャンペーン（仙台、北海道、福島、千葉、東京、愛知、兵庫、同時期実施）：  
R4年2月14日（月）～2月19日（土）6日間、10時～16時

■場所：仙台市内

■件数：140件（無言・一言6件含む）、通話時間5,803分、平均約43分。

■従事者数：受け手12名、支え手3名、スーパーバイザー1名

■状況

- ・毎年カードを作成し関係機関に配布しているので、大分浸透してきている。
- ・件数は140件で、平均通話時間が43分。電話をかけてくるママ（パパ）の気持ちに寄り添って話を聴くことに務めた。
- ・かけ手の多くは母親からで全体の91%、次が父親から3%、祖母から1%、不明が4%だった。
- ・かけ手の子どもの年齢内訳は、未就学児15%、小学生55%、中学生23%で、子どもに関する悩みの内容で一番多いのは「教育」、次に「発育」「生活」の順になった。
- ・特に発達障害による学習の遅れの心配、学校での対応に不満の感情を語る電話が多く寄せられた。
- ・父親からは、子どもが生まれてから夫婦間がギクシャクしてきた方、会社と家庭の狭間で一人で悩みを抱えている方からの電話があった。
- ・特に悩みを話すこともなく誰かと日常の出来事話したい、県外からのリピーターも増えてきた。

- ・コロナ禍での生活も長くなり落ち着いてきたように見えるが、外で思いっきり体を動かしたり、対面での接触（会話）が減ってきた分、ネット情報やゲームに依存する時間が長くなっている。大人も子どもも発散しきれないストレスを抱えているように感じた。
- ・事務所の移転によりママパライン専用の個室はなくなり、ワンルームの一角での受話のため、外部の騒音や2回線のため他の受け手の声などが聞こえ、電話に集中することが難しくなった。ヘッドホンを活用し出来るだけ集中できるように心がけた。
- ・限られたスペースでの電話対応のため、コロナ感染対策の換気や密集しての私語を控えるよう注意喚起に務めた。

#### ■今後へ向けて

- ・子育てを家庭だけでなく社会全体で支えていく流れの中で、養育者の気持ちに寄り添い支える（指導・アドバイス・評価しない）活動が更に社会から求められると考える。
- ・受け手の研鑽と組織のリスクマネジメントは必須である。

#### 【研修】

##### 《受け手・支え手・スタッフ 定期研修》

電話のかけ手の悩みに寄り添うため、スーパーバイザーを交えてケースの検討と傾聴力を高める研修・研鑽を行なった。

- 実施日：12/9、1/9、2/10、3/10、4/14、5/12、6/9、7/14、8/4、9/8、10/13  
(毎月第2木曜、10:00~12:30)

■場所：泉区中央市民センター、事務所。

■参加人数：受け手&支え手：104名。

##### 《受け手・支え手・スタッフ スキルアップ講座》

外部講師を招いて、受け手の更なる傾聴力を高めるための講座を行なった。

■実施日：1/9（日）10時~15時

■場 所：日立システムズホール仙台研修室

■講座名：「障害児への自立支援に求められるもの~自分を好きでいられるために~」（受講者15名）  
「自分を知る~自分の内面をイメージ療法で知ろう~」（受講者15名）

■参加人数：受け手・支え手・スタッフ 30名

##### 《ママパライン全国研修・交流会》

全国7ヶ所のママパライン実施団体が1年間のまとめと研修をオンラインで行った。

■実施日：3/12（土）10時~15時30分

■場 所：事務所

■参加人数：7名（全国：26名参加）

#### ■状況

- ・定期研修およびスキルアップ講座は、ママパライン仙台の質的維持と受け手の傾聴力向上のための基盤になっている。様々な不安や戸惑いを感じている家族への支援について、情報の共有と研鑽を深めることができた。
- ・オンラインによる全国研修・交流会は、各地のママパラインに取り組んでいる多くのメンバーの顔を見ながら意見交換や交流ができた。各地での情報や課題点が線で繋がりが共通対応として考えることが出来た。

#### ■今後へ向けて

- ・長引くコロナ禍の生活で社会や学校での常識が変わりつつある。その現実を理解し、子育て家庭に及ぼす様々な問題を理解するための研修や研鑽が受け手に求められる。自分と向き合う自己評価が課題である。
- ・組織のサポート体制の充実（スーパーバイザーの増員と理事の関わり）とかけ手に寄り添うため、受け手の客観性と傾聴力の更なる成長が求められる。

#### 【広 報】

■カードの配布：185,000枚作成

宮城県内各市町村子育て支援窓口、宮城県内小学校・幼稚園、宮城県各社会福祉協議会、宮城県内児童センター・児童館、宮城県内子育て支援センター、仙台市内市民センター、富谷市内公民館、のびすく6館、みやぎ生協等に配布。

■メディア掲載：河北新報、朝日新聞、読売新聞、とみいずに掲載。

当法人広報紙「杜の子つうしん」とHP

## 【助 成】

- 宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」：591,000 円。
- 子ども NPO・子ども劇場全国センター（連合・愛のキャンパ）：111,500 円。

## ② ママパパライン仙台子育て応援講座

現在の受け手とママパパラインに関心がある方、子育て支援に携わっている方を対象に子育て応援講座 6 講座を実施した。

- 実施日：11/6、6/13、6/20
- 場所：日立システムズホール仙台 エッグホール
- 講座名：「傾聴ボランティアをする上での心得」：15 名  
「虐待など悩みのある家庭への理解」：17 名  
「多様性の理解～家庭って？～」：17 名  
「自分を知る～実はあなたは腹の底では気付いている」：18 名  
「傾聴を知る～耳と心を傾ける力～」：18 名  
「発達障害の理解と支援について」：18 名
- 参加総数：103 名
- 状況
  - ・仙台市のガイドラインに則ったコロナ感染予防対策を取り、人数を制限して開催。
  - ・申込受付段階で健康調査票を送付し、受講者及び講師に注意喚起を促して実施した。
  - ・子育て支援の現場で働く方の参加が多くあり内容も充実して好評だったが、受け手ボランティア希望者はなかった。
- 今後へ向けて
  - ・電話受け手が不足している現状が続いているため、受け手養成を兼ねる子育て応援講座は継続する必要がある。

## ③ 杜の子サロン

子育て中の親の居場所づくりと親同士の繋がりを支援するため、月一回子育て経験者が見守る中で、「母親たちのおしゃべりタイム」をカフェ形式で行っていたが、コロナ禍が長引き 2020 年 3 月以降、中止している。再開に向けて支援の目的を再確認し現在子育て中の親のニーズを念頭に置き、乳幼児親子に非日常的な空間で心を癒すコンサートなど提供すること等、今までの形式に拘らわれない支援の仕方を検討した。



**① 榴岡児童館の指定管理**

- 指定管理期間：平成19年(2007)4月～令和7年3月（指定管理16年目）
- 所在地：本館：仙台市立榴岡小学校敷地内隣接  
           第1サテライト室：名取ビル富弥1F  
           第2サテライト室：108二十人町1F  
           第3サテライト室：仙台サンプラザホテル4F
- 開館日：日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く毎日
- 開館時間：本館：9時～18時（月～金）、9時～17時（土）  
           児童クラブ：8時（学校休業日）～19時15分（延長登録児童のみ）  
           延長＆学校長期休業日等の早朝対応：本館＆第3サテライト室
- 職員体制：館長・常勤職員11名、非常勤職員10名（内1名は育児休暇中）、  
           長期アルバイト3名、学生アルバイト2名。
- 苦情解決第三者委員：3名。（相澤光一氏、関口真爾氏、松坂宏造氏）
- 児童館地域連絡会：13名。1回開催。事業評価および意見と要望を伺う場である。3月に事業報告を  
           届け評価と意見を書面で頂いた。本音で相談できる場所。  
           10月31日（月）：対面で会議を開催した。
- アンケートの実施：年1回。R3年度回答総数770名。  
           対象：小学生＆榴岡小5学年、児童クラブ登録児童、東華中および宮城野中2学年全生徒、乳幼児  
           保護者、児童クラブ保護者、一般、榴岡小教職員。  
           内容：児童館＆職員について、行事評価、やってみたいこと、心配や不安に思う事、要望の他、コロ  
           ナに対する不安、心の様子、休日や放課後の過ごし方、新しい生活様式やスマホやゲーム等  
           メディア機器接触についての設問。記述式が多いものの胸の内を書き出す傾向があった。子  
           どもたちからは友達への心情や大人へ注がれる目線が窺えた。

**■R4年度（R3年11月～R4年10月）の報告**

- ・コロナ禍が続く中、児童館は児童クラブ受け入れ、乳幼児親子の平日午前中の利用、土曜日のみ  
 の自由来館の利用に限定されていたが、10月より「宮城県BA.5対策強化宣言」が解除となり、乳幼  
 児親子及び自由来館児童の受け入れは開館時間内となった。引き続き飲食はできず、消毒や3密回  
 避のための対応が現場に求められる状況は変わらず、利用率の高い本児童館は対応に苦慮している。  
 状況変化が著しく、利用については館内表示や児童館だよりでは不十分、児童館HPに掲載し対応  
 した。児童クラブ保護者への対応は状況に応じて榴岡小一斉メールで配信してもらっている。

**【乳幼児】 & 【子育て支援】**

- ・コロナ禍ではあるが、初来館する親子が日常的にある。榴岡エリアへの子育て世帯の増加が窺える。
- ・乳幼児親子の自由来館は本館、定例会は児童クラブサテライト室2で行っている。
- ・来館する毎に「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための来館時チェックリスト」に記入して貰  
 っている。
- ・10月に入り、仙台市は乳幼児親子の利用時間の制限をやめたが、本児童館については大規模児童ク  
 ラブの利用率が非常に高く、平日や学校の振替休日等では3密回避ができない現状であるため「共  
 存」には支障がある。乳幼児親子の平日の利用は概ね13時までの利用が多い。
- ・田原さえピアノコンサート：12組ずつ2回に分けて実施。①6/17、12組。ピアノ&チェロ。  
           ②6/24、14組。ピアノ&バイオリン。
- ・「ママココフェスティバル」：7/1と7/8。2回に分け15組ずつの申し込み制とし、日頃の子育てを  
 頑張っているママを応援するため開催。手作りコーナーや親子で遊ぶコーナー、ボンクラーズミニ  
 コンサートを実施した。参加ママへのプレゼント提供→榴岡天満宮、ハッピーデンタル、NPO法人  
 ふうとばんく東北 AGAIN。

- ・定例会：親子あそび（わらべうた、てあそび、身体表現、アート、工作、ママのおしゃべりタイム）

定例会		びよびよ	よちよち	びよんびよん	ぴっころ	つつじさろん	とっとくらぶ
実施日と人数	R3	11/11：7組 12/9：7組	11/25：6組 12/16：8組	11/30：9組 12/21：6組	12/14：3組	11/17：6組 12/15：6組	登録制だが今年度はなし。
	R4	1/13：2組 4/14：3組 5/12：7組 6/9：3組 9/8：5組 10/6：5組	1/20：8組 4/21：4組 5/19：2組 6/16：5組 9/15：4組 10/5：5組	1/25：2組 4/26：4組 5/24：7組 6/21：6組 9/27：7組 10/25：2組	1/28：1組 5/26：2組 6/23：4組 7/14：6組 9/29：5組 10/21：10組	1/19：3組 4/20：4組 5/18：8組 6/15：9組 8/31：10組 9/21：6組 10/19：9組	

← 子育て支援 →

- ・「子育てあるある劇場」：10/21（金）。せんだい演劇工房 10-BOX との共催。子育てのエピソードを寸劇仕立てで披露した。参加者からの話を即興で演じ、子育てをコミカルに表現した。
- ・「ハロウィンパレード」：10/27（木）。午前に分けて2回実施。各回15組。二十人町をパレード。協力店でお菓子をもらった。協力店→アンパンマンミュージアム、くだものいたがき、庄謙商店、沼田種や、ハッピーデンタル、CALM 日和。

## 【小学生】

- ・9月までは土曜日午後のみ利用制限が続いた。利用に際しては、保護者宛に「自由来館利用確認書兼同意書」の提出をお願いしている。「自由来館利用者カード」を発行し、児童が利用するたびに児童館へ携帯してもらっている。10月に入り利用制限が緩和され、平日の放課後利用も可能となった。少ないながらも平日来館する児童がいる。
- ・コロナ禍が続いているが R4 年度は小規模ながら行事を再開している。応募に際しては保護者の同意を必須としている。行事数は少ないものの、応募者数は定員を超えるケースが続いている。保護者の理解があつてこそ！と感じる。
- ・異文化理解プログラム：11/27、16名。国際教養大学の学生チームとのオンラインによる交流プログラム。文化圏の異なる人々と共に暮らす社会について学習した。名鉄観光（株）との共催。
- ・プチクリスマス大会：12/25、2回。午前19名と午後16名。会場を分室2とし、小グループによる宝探しゲームを通して異学年でクリスマスを楽しんだ。
- ・「子どもスタッフ会」：6/11 から始動！毎週土曜日に子ども同士がディスカッション中。小学4～6年生対象に20名が参画、現在「こどもまつり」の実施に向け計画進行中。1月開催予定。
- ・「おいでよ！夜の児童館」：9/3（土）、16時～21時30分。3年生以上20名。4グループに分かれ火起こし体験、各自持参のおにぎり夕食後、徳泉寺で肝試し体験。
- ・「そあとの庭 in 坪沼」：9/10（土）…7/16大雨により延期に振替。3年ぶりに実施！3～5年生15名。バスをチャーターし、2人掛けの座席に1名ずつ乗車。「さいじい」の坪沼探検ワークショップ。
- ・「そあとの庭ワークショップ in 榴岡公園」：7/11、13時～15時。参加児童2～3学年7名。さいじいと共に公園探検。新たな発見や気づきあり。
- ・「ハロウィンパレード」：10/29（土）午前と午後に分けて実施、各15名。宮城野大通りをパレード、協力店でお菓子をもらう。協力店→松栄不動産、仙台市生涯学習支援センター、ロッシェ、オニオンとまと、榴岡天満宮、徳泉寺、ハッピーデンタル、CALM 日和。

## 【放課後児童クラブ】

- ・2022年4月登録児童数301名。（本館96名、分室Ⅰ48名、分室Ⅱ100名、分室Ⅲ57名）待機児童あり。夏休み後に解消した。
- ・日常は「子どもが遊びたいあそび」を基本にしているが、利用自粛要請はしているものの本館・分室1&2の密集度は高い。コロナ禍が長引いていることにより、体力の低下、適度な距離感およびコミュニケーションの不得手さが目立っている。毎日の校庭でのあそび（キックベース、ブランコ、シーソー、フリスビー等々）は適度な間隔等を取ることができない傾向があり、遊び方からの指導が欠かせない。館庭に桜が移植され昆虫が多くなり虫取りに幅が出てきた。
- ・遊戯室での遊びは高学年が調整し学年ごとに利用時間を決めている。ドッジボールが主になっているが、1学年の勢いは他学年を上回っている。2&3学年の体力（投げる力、反射力等）の低下が気

になるところ。「チーム」を意識するようになってきた。各登録場所対抗ドッジボール大会では分室3が優勝トロフィーを獲得した。

- 空き箱による自由工作、紙人形&ペパピポロボットは毎年好評であるが、スタッフと共同で作成するボードゲームづくり、難易度の高い折り紙も多くなってきた。
- 子ども集会：児童館で起こった気懸りなことについて、その都度集会を開催してきた。自分の意見を話す・相手の意見を聴くことから、子ども同士で考え気づくことに重点を置いてきた。子どもの参画を進める上での基本であるとの認識で、職員の関わり方の学習にもなっている。
- 「そあとの庭」ワークショップ：坪沼でのWSと児童館でのWSがある。毎回、応募者が上回る状況で、公開抽選時は子どもの悲喜こもごもの表情を窺うことができる  
「坪沼WS」：R3.11/20、12/4、12/11。R4は5/21、6/11、9/10、10/1、10/15。定員を20名とし、児童クラブ登録児童のみ対象のWSで。自然体験、森の探検、遊び場づくり、ホタル観察など、児童の体力やコミュニケーション力・達成力、知的好奇心を高める活動となっている。  
「榴岡公園WS」：7/9、10/11。  
「砂場WS」：6/3、6/30、7/20。本館および各分室で1回ずつ。榴岡小校庭および榴岡5丁目公園で実施。  
「モザイクアートWS」：9/27。本館と各分室で持ち回り制作。そうさんの家作品展（10/21～23）へ出展。
- 児童クラブ保護者懇談会：1年生はクラス毎で5回、2年生以上は学年毎に開催した。参加者数は毎回異なったが、コロナ禍が長引く中、初対面の保護者は多かった。対面式の懇談は「相手の理解につながり今後も開催して欲しい」等の意見が相次いだ。後期の実施も考えている。

#### 【子育て支援】

- 「つつじがおかサロン」（共催：榴岡地区民生委員児童委員協議会）：定員12組、申し込み制。蔓延防止重点措置等の発出解除と共に開催した。毎月1回。
- 「救急救命講習会」：11/22実施予定。榴岡地区日赤奉仕団との共催、乳幼児向けの心肺蘇生法やAEDの操作方法を学ぶ。
- 「縁が輪ねっと」：11月実施に向け準備中。  
地域および周辺の子育て支援諸団体と情報交換会の場である。
- 宮城野区家庭健康課と連携：今後の施策についての意見交換、支援の必要な親子の情報共有とつつじがおかサロン、縁が輪ねっとへ参画してもらっている。担当保健師が来館する回数が増えた。
- 子育て支援クラブ「ガーネット」：コロナ禍の中にも拘らず、分室2で定期的に集まっている。ガーネットメンバー向け「整理収納術」を企画した。ママの参画は途絶えていない。

#### 【中高生】

- コロナ禍の中、行事は実施できていないが、春休み中は児童クラブOBが小学生の遊びをサポートしてくれた。（保護者には了承済み）
- 仙台市内中学校2学年の職場体験：長町中、中野中、高砂中、青陵中、寺岡中は中止。
- 専門学校生の実習受け入れ：1名。
- AO入試に向けた実習として高校生1名を受け入れた。

#### 【地域公開セミナー】

- 3年ぶりに榴岡小PTA・学校支援地域本部・児童館による共催が再開した。コロナ禍により参加人数は限定される中ではあるが、会場は榴岡小学校体育館となった。  
第1回：7/14。80名（教職員と地域諸団体）。  
「夢を叶える子どもの育成」 多賀野榴岡小校長&猪股亮文元校長による対談。  
コーディネーターは松坂宏造氏。  
第2回：10/25。180名（榴岡小5学年生と地域限定）  
「榴岡のゆかいな三人組～榴岡公園に纏わる話～」  
講師は相澤光一氏、関口真爾氏。

#### 【地域連携】

- 「榴岡界隈ワイワイまつり」：12/18。地域諸団体と共に規模を縮小して開催。学校探検と風船リリース、オンラインによるパフォーマンス披露。R4年度は12月実施に向け準備中。
- 天満宮例大祭：小学生向け企画→「灯籠づくり」キッドを児童館で配布。  
大人神輿渡御に参加：職員3名。例大祭出席：館長。

大祭期間中スタッフ2名が従事。

- ・榴岡地区総合防災訓練：町内会役員のみでの実施。
- ・榴岡地区町内会連合会定期総会、その他の会議：書面による開催もしくは中止が続いている。
- ・ハロウィンパレードへの地域商店等の協力：乳幼児親子&小学生の立ち寄り所ではノベルティを用意するケースが増えた。
- ・榴岡地区日赤奉仕団：職員向け救命救急講習を共催で実施予定。
- ・「つつじがおかほっとぼっと倶楽部」が立ち上がった！：毎月1回定例会。榴岡小 PTA & 学校支援地域本部 & 児童館 & 榴岡小校長がメンバー。各団体等の状況、3者による榴岡児童館地域公開セミナーの実施に向けた協議等。

#### 【安全・衛生関係】

- ・コロナ対策：仙台市のガイドラインに則り実施している。榴岡小との共通認識に基づく行動および連絡体制が出来ている。
- ・手指消毒液、ペーパータオル、蓋つき足踏み式ゴミ箱、定期交換玄関マットの常設。
- ・消毒リスト表に沿った定時及び随時の消毒作業。
- ・来館者および職員の健康チェック。
- ・職員の検温表、アクリル板の設置等。
- ・館内は全室とも窓は常時開けている。サーキュレーターと空気清浄機の設置。
- ・光触媒によるコーティング：館内外（自動ドア、ドアノブ、手すり、トイレ、水回り、テーブル、ロッカー、椅子、事務機器等）、遊具、玩具等。
- ・夏場の高温対策：玄関付近にガーデンシャワー（ミスト発生器）設置。遊戯室は遮光ネットと熱中症指数計測器を設置しているが、夏場は室温上昇で殆ど使用できない。こまめな休憩と水分補給を促す。外遊びや遊戯室での遊び時の室温および外気温を細めにチェックした。
- ・事故防止：複数のマニュアルを整備。速やかな修繕を心掛けているが、築年数が16年となり部品等の調達が難しくなっているケースもある。\*学年ごとに水筒置き場を設置。
- ・コロナ禍での対応も含め緊急時は榴岡小一斉メールでの配信をお願いしている。大変有難い。
- ・訓練の日：毎月1回諸訓練を実施。本館と分室ごとの訓練。榴岡小の諸訓練時は連動して実施してきたが、コロナ禍でできないことが多々ある。仙台サンプラザHで実施の防火・防災訓練への参加。訓練計画は本館と各分室の担当者（1名ずつ）で作成することとした。
- ・不審者対応訓練：12/10。榴岡防犯協会と仙台東警察署の協力を得て実施。館内へ侵入した不審者（警察官が扮する）を取り押さえる本番さながらの緊迫した訓練を行った。さすまたの使用、女性職員の対応方法、各分室へ立ち寄りアドバイスも受けた。
- ・駅東口交番署長はじめ警察官が不定期ではあるが立ち寄っている。
- 「児童館だより」12回発行。（毎月発行枚数：1800枚）  
町内会回覧、榴岡小全家庭配布、東華&宮城野中・クラーク国際高校仙台校・仙台市立大志高校で掲示。仙台市生涯学習センター等関係機関や榴岡地区保育園、放課後児童サービス等に配布。  
「児童クラブだより」：5/16、5/27、7/15、10/5
- 職員ヒアリング：年1回、11月に実施。
- 職員面談：年1回、1月に実施。自己評価と来期の契約について。
- 職員研修
  - ・法人主催：3回（榴岡、新田、成田小児ク、成田東小児ク職員対象。）  
菅野顧問弁護士：6/15、6/23、6/14 苦情解決および個人情報保護について講義&ワークショップ  
伊藤顧問労務士：6/28、7/7、7/15 就労・労働契約・社会保障・扶養・ハラスメントについて  
初任者合同研修会・勤務年数4年以下対象、10/13  
「目指す児童像」「そのための手立て」について講義&グループWS  
講師：斎藤代表理事、阿部清人副代表理事、小玉順子理事
  - ・宮城県児童館・児童クラブ連絡協議会主催研修：定員減ではあるが年間実施となった。
  - ・全国児童館児童クラブ宮城大会：11/7開催。職員の一般参加のみならず実行委員として参画。
  - ・「あそびの屋台」実行委員会発足：県児連主催。上記大会で未実施となった部分の具体化を進める。
  - ・仙台市主催：職員は全9回のうち2年間で1回を受講する。  
オンラインによる受講併用であるため、他スタッフも共に聴講し共有と研鑽を図った。
  - ・児童館×東北の造形作家を支援する会 SOAT による研修：年度初めに実施した。

- ・「あそびの屋台」実行委員会発足：県児連主催。昨年実施した全国大会で未実施となった部分の具体化を進める。実行委員会へ2名参画。
- ・その他の外部研修：随時参加。

■職員ミーティング：毎月2回開催。消毒後13時より開催。職員ミーティングの中に「子供の理解」「目指す児童像」「そのための手立て」についてグループWSを継続している。放課後の児童登館前のミニミーティングと行事等の打ち合わせは随時。

■榴岡児童館利用状況（人数）

\*乳幼児親子の児童館利用：9月まではコロナ禍で9:00～12:00。

\*小学生以上の自由来館：9月まではコロナ禍で土曜日の13:30～16:00。

	R3.11～3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
幼 児	749	88	138	256	189	78	187	219	1,904
児童クラブ	12,995	3,495	3,485	4,067	3,610	3,289	3,175	3,413	37,529
その他児童	25	12	2	26	23	8	27	77	200
中 高 生	0	0	10	0	0	0	6	0	16
一 般	679	94	132	270	226	70	176	217	1,864
合 計	14,448	3,689	3,767	4,619	4,048	3,445	3,571	3,926	41,513

評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》	
<p>①コロナ禍が長引き計画した行事全部が出来なかったのは残念であるが、「できない」から「出来る工夫をして実施する」意識を職員全員が持ち、行事を具体化しようとする前向きな姿勢と研鑽意識を評価したい。</p> <p>②感染予防対策として館内外と各サテライト室の主な個所や玩具に光触媒コーティングを施工した。利用者からは「ここまで配慮して頂き安心、感謝です。」の言葉を頂いた。</p> <p>③榴岡小との関係はコロナ禍という緊急事態の中でも校長と館長の共通認識の基、児童理解等だけでなくコロナ対応での流れの確認から保護者等への周知に至るまで協働意識が発揮された。</p> <p>④地域からは大震災時と同じく物心両面で支えて頂いた。</p> <p>⑤小中学生の自由来館が制限された一年だが、「おいでよ夜の児童館へ」や「プチクリスマス会」等を実施できた。定員に対し応募が上回りニーズに応じきれなかった事、子ども参画による子どもスタッフ会を立ち上げる事が叶わず「こどもまつり」ができなかった事、中学生のアンケートから窺えた思いを形にできなかった事を来期こそ実現したい。</p> <p>⑥地域世代間交流の場である児童館まつりは中止としたが、乳幼児親子向けと小学生の「ハロウィンパレード」と地域諸団体と小学生対象の「ワイワイまつり」を再開できた。</p> <p>⑦乳幼児親子の利用制限を避けるため年齢毎の定例会は分室2で行い、本館での親子利用を優先した。母親のストレスを軽減するため母親同士のおしゃべりタイムを大切に。2年ぶりに「ママココフェスティバル」を2日に分けて実施できた。</p> <p>⑧コロナ禍の中でも利用率が高く分散化した大規模児童クラブを滞りなく行えたと思う。登録児童対象に「そあとの庭」ワークショップを含む体験活動を小規模に全プログラムを行うことができ、保護者の活動に対する共感が広がったと感じる。恒例の保護者会による大そうじ会も嬉しかった。</p> <p>⑨放課後児童ディゾウさんの家主催の作品展に自分表現のため出展した。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、コロナ禍において一部が計画通りに実施することができなかったものの、感染予防のための対策の徹底と子どもたちの成長を見据えた体験型の行事の企画の両立を図りながら、関係者の協力を得て概ね実施することができた。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、地区民生委員児童委員との共催で実施した「つつじがおかサロン」や子育てサロン「ぴっころ」、「ママココフェスティバル」などの開催を通じ、乳幼児親子の交流の場と居場所づくりに努めた。</p> <p>地域交流推進事業においては、コロナ禍の中で対面型の行事の開催が難しいなかでも、児童館だより等の配布を通じ関係機関との交流を続け、今後の各種行事の再開を目指すとともに引き続き連携を図るよう努めた。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、感染拡大防止策の徹底を行いながら児童の受け入れを行うとともに、小学校との連携を通じてコロナ禍における対応や児童の相互理解に取り組んだ。また、児童の安全確保のために実施した不審者対応訓練では、地区防犯協会と仙台東警察署の協力のもと、実際に想定される事例をもとにした実践的な訓練を行うことができた。</p> <p>こうした特色のある館の様々な事業を通じて、常に職員のスキルアップを意識して遊びの提供や子ども達の支援に取り組んでおり、評価できる。</p>	S

**② 新田児童館の指定管理**

- 指定管理期間：平成 22(2010)年 4 月 1 日～令和 7 年(2025)年 3 月 31 日(指定管理 13 年目)
- 所在地：本館：仙台市宮城野区新田 2 丁目
  - 第 1 サテライト室：同館内に設置
  - 第 2 サテライト室：新田コミュニティセンター 2F
  - 第 3 サテライト室：新田住宅集会所に設置
  - 第 4 サテライト室：新田小学校生活室
- 開館日：日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)を除く毎日
- 開館時間：本館：9 時～18 時(月～金)、9 時～17 時(土)
  - 児童クラブ：8 時(学校休業日)～19 時 15 分(延長登録児童のみ)
  - サテライト室 放課後～17 時(月～金) \*延長利用場所：本館
- 職員体制：館長、副館長、常勤職員 8 名(内 1 名は育児休業中)、非常勤職員 9 名  
長期アルバイト 3 名 計 22 名
- 苦情解決第三者委員：3 名(林崎祐樹氏、高松博子氏、高橋恵美氏)利用実績なし。
- 児童館地域連絡会：9 月 8 日(木)集会所にて開催。16 名参加。事業評価及び意見・要望等。  
(新田学区連合町内会会長、新田小学校長、父母教師会会長等)
- アンケートの実施：年 1 回。R3 年度回答総数 530 名。
  - 対象：小学生&新田小 5 学年、児童クラブ登録児童、東仙台中 2 学年全生徒、乳幼児保護者、児童の保護者、一般、新田小教職員。
  - 内容：児童館&職員について、行事評価、やってみたいこと、心配や不安に思う事、要望の他、コロナに対する不安、心の様子、休日や放課後の過ごし方、新しい生活様式やスマホやゲーム等メディア機器接触についての設問、自由記述等。小学校職員へのアンケートは初めて、中学生へのアンケートは数年ぶりの実施であり、内容のあるアンケートとなった。

**■R4 年度(R3 年 11 月～R4 年 10 月)の報告**

コロナ禍が続く中、児童クラブの継続的な受け入れと、乳幼児親子の月～土の午前中の受け入れ、土曜日の午後のみの中小学生の自由来館が R4 年 9 月まで続いた。R4 年 2 月 1 日～3 月 21 日までは「宮城県緊急特別要請」が発出され、小学生以上と乳幼児親子の自由来館が休止されたが、本館は「児童館地域子育て支援室」の宮城野区の拠点館であることから乳幼児親子の自由来館は継続された。R4 年 4 月 15 日には「積極的疫学調査の重点化」により、これまでの陽性及び濃厚接触者についての調査形式が簡略化され、業務の軽減化が図られた。R4 年 10 月からは「宮城県 BA.5 対策強化宣言」が解除となり、乳幼児親子及び自由来館児童の受け入れは開館時間内に拡大された。引き続き飲食はできず、消毒や三密回避のための対応が現場に求められる状況は変わらず、児童クラブ、乳幼児親子ともに利用率の高い本館は対応に苦慮している。コロナ感染の状況変化が著しく、利用については館内掲示や児童館だよりでは不十分で、児童館HPに掲載し対応した。更に緊急の児童クラブ保護者に対してのお知らせは新田小一斉メールで配信してもらっている。

**【乳幼児】 & 【子育て応援】**

- 毎日 10 組前後の来館があり、リピーターが多く子育て支援のニーズが高い地域である。育児休暇中の 0 歳児親子の利用者が多い。父子が一定程度おり、母父の協働が進んでいることが窺える。宮城野区の子育て支援拠点館ということもあり、他地区からの乳幼児親子の利用も一定数ある。
- 乳幼児親子の受け入れは本館のみで行っており、来館の際には「新型コロナウイルス感染拡大防止のための来館時チェックリスト」に記入してもらっている。
- 1 月～3 月にかけては仙台市のコロナ感染状況の増加に伴い、乳幼児関連の行事は休止とした。但し、自由来館については子育て支援館として受け入れを継続した。
- 10 月に入り、仙台市は乳幼児親子の利用時間の制限を解除したが、本館は大規模児童クラブであり、放課後の児童数が非常に多いため、空間的に乳幼児と児童の分離や 3 密回避が難しい。そのため、あらかじめ来館時に小学生児童の帰館時刻を乳幼児の保護者にお知らせしている。利用親子のほとんどは午前中の利用だが、午後からの来館で 14 時頃までの利用者も若干数見られるようになってきた。土曜日については、自由来館者の遊戯室利用希望が午後に多いため、乳幼児が安心して利用できる部屋を考慮し、厳密ではないものの、午前：乳幼児親子、午後：小学生以上の自由来館の自主的な住み分けが行われている。

- 定例会(月齢別)：「さくらんぼひろば(0才)」「いちごひろば(1才)」「ばななひろば(2～3才)」「めろんくらぶ(2～4才)」(各「ひろば」定員10組として実施)  
主に季節を感じさせるようなイベント・活動を実施し楽しんでもらっている。

定例会	さくらんぼひろば	いちごひろば	ばななひろば	めろんくらぶ
実施日と 人数	11/24：9組	11/22：6組	11/18：6組	11/16：7組
	4/27：8組	4/25：6組	4/22：4組	5/17：2組
	5/25：10組	5/23：5組	5/20：5組	6/28：4組
	6/22：9組	6/20：7組	6/17：3組	7/12：4組
	10/20：7組	7/11：3組	7/8：3組	10/25：3組
		10/18：8組	10/21：5組	

- 宮城野区家庭健康課と連携：支援の必要な親子の情報を共有し支えた。
- 宮城野区「地域はっぴいプロジェクト」：手作りおもちゃの作成に協力
- ほっこりサロン会：R3年度から開始した。「読み聞かせ」や「お絵描き」「おもちゃ作り」「英語で遊ぼう」「お下がりコーナー」等を設置し、楽しくゆったりした時間を過ごせるようにした。  
11/26(7組)、5/27(1組)、8/26(16組)、9/29(27組)
- フルーツバスケット：ドーナッツ共催
- 子育て支援クラブ「ドーナッツ」では乳幼児をもつ母親たち自身が企画運営を行い、多岐にわたる内容を提供しつつ喜ばれて大きな達成感を得ている。2月～3月はコロナ感染症対応のため中止となったものの、ほぼ年間を通して活動できた。運動会11/25(14組)、ポーラセツ12/9(13組)、お正月遊び1/13(22組)、R4初めましての会4/21(9組)、野菜苗植え5/12(11組)、公園で遊ぼう5/26(8組)、プラレール・シルバニア・リカちゃんて遊ぼう6/9(11組)、アロマ講座6/23(14組)、七夕企画7/7(13組)、乳幼児急患処置7/14(3組)、野菜収穫8/5(2組)、夏まつり8/26(16組)、手形アート9/8(13組)、バランスボール9/22(9組)、運動会10/13(12組)、ハロウィン10/28(14組)  
中止となった期間についても、クラブ実施用に作成した工作キットを登録家庭に配り喜ばれた。
- 産後ダンス12/3(1組)、4/15(3組)、5/13(5組)、6/10(6組)、9/9(4組)、10/14(1組)
- 新田地区の子育て連絡会「NOKISHTA ねっと」地域及び周辺の子育て支援団体の連絡・情報交換会。  
7/5実施参加19人14団体。

### 【小学生】

- 9月までは土曜日午後のみ利用制限が続いた。利用に際しては、保護者宛に「自由来館者利用確認書兼同意書」の提出をお願いしている。「自由来館利用者カード」を発行し児童・生徒が利用する際に確認するようにしている。また「来館時チェックリスト」に記入し記録している。
- 10月に入り利用制限が緩和されているが、コロナ以前と比べると圧倒的に少ない来館者である。それでも徐々に来館者が見られるようになっている。
- 「地域公開セミナー」：10/12新田小体育館にて脳科学者の瀧靖之氏、ピアニスト田原さえ氏による子どもの成長と脳のやさしい話と癒しのピアノ演奏を提供。児童クラブ児童とともに小学校保護者、地域へも案内した。小学生55名、一般保護者・地域住民24名、PTA役員3名、スタッフ等8名。
- 「小学生ハロウィンパレード」：10/29。3年ぶりの館外実施。3年生以上の児童クラブと小学生に募集をかけ抽選で40名を選抜。4組に分かれて時間差で児童館周辺の町内を仮装してパレードした。7か所の地域スポットをパレードし巡った。スポット以外でも地域の方々から声かけやお菓子をいただき、子どもたちは大盛り上がりだった。
- 「小学生クリスマス発表会」：12/25(土)出演希望者と参観希望者による発表会。本館で2ステージ実施。発表者6組14人、参観者53名。進行も小学生が行い自己達成感の醸成に役立った。恒例のプレゼントビンゴ大会はサテライト毎に別日に行い大いに盛り上がった。

### 【放課後児童クラブ】

- R4年4月登録児童数267名(本館55名、分室56名、集会所46名、コミセン53名、学校57名)
- コロナ禍で3密の回避など様々な制限がある中で、子どもたちの心と身体の健康に資する環境作りに取り組んだ。日常生活においては、感染予防対策として手指洗い、消毒、マスク着用を常に促した。遊びにおいては、子どもの自主性を尊重し、子ども自らが様々な遊びを選択し活動できるよう

に工夫している。児童クラブ室内では、各種のテーブルゲームやブロック、おもちゃ等で遊んでいる。常に使用されているのは、各種のブロック遊びとドールハウスを使ってのごっこ遊びである。空き箱やダンボールを活かした自由工作活動もできるようにしている。また、簡易アニメソフトを使ったアニメーション作りを行っている。チームでの活動で協力し合いながら制作している。児童館と館庭をつなぐ「軒下」は利用価値が高く、雨天時でも竹馬、一輪車、コマ回しなどができる空間となっている。館庭では虫探し、かけっこ、おにごっこ、キャッチボール、砂場遊びなどの遊びのほか、畑での野菜作りや花壇での植物栽培で季節感を味わいながら豊かな活動体験ができています。遊戯室は、コロナ対応を徹底しながら「学年別ドッジボール」や「ダンス」を楽しみ運動能力や調整力の向上に資するだけでなく、エネルギーの発散の場にもなっている。

- 「SOATワークショップ」：造形表現活動と館外での自然体験活動。  
造形表現活動：「秘密の部屋」としてテントの四方に透明なシートを貼り、そこに自由な発想で絵を描き、自分のお気に入りを取り取って一枚の絵に額装する活動を行った。テーマを「不思議な水族館」と定め、自分だけの楽しい水槽が出来上がった。作品は「東部市民センターまつり」や「そうさんのみんないっしょの展覧会」に出展し、社会に鑑賞していただく機会を得た。  
自然体験活動：「砂場ワークショップ」の場所を隣接する公園の砂場と、館庭の砂場で実施。サテライト毎の活動とし人数を分散できただけでなく、活動する場が非日常的な空間に変わり、エネルギーギッシュな活動となった。高学年が低学年を思いやる姿も見られた。  
坪沼での自然体験活動：昨年に続き参加者をバスの定員の半分に限定し実施した。自然の中で子どもたちの持つ好奇心や探求心が引き出される活動を行い、子どもたちの心身の発達と成長を大いに促した。また支援を要する子どもたちが自然の中に溶け込み自由に活動する様子があった。  
12/18（14名）初めての冬季の坪沼体験となった。厳しい寒さを実感する体験となった。  
11/13（19名）、5/28（19名）、6/18（20名）、8/27（17名）、9/3（18名）、11/5（15名）。
- 児童クラブだより：年5回発行。
- 「新田よろこびの会」へ児童クラブ児童作成の「敬老の日祝い品（コースター）」93個贈呈。後日、よろこびの会より敬老者に伝達された。
- 保護者会：11/26、11/27（冬休み前：都合3回の分散開催108名）。7/2、7/16（夏休み前：都合3回の分散開催108名）。保護者説明会：3/5（新年度新規登録者向けの都合2回の分散開催47名）保護者会終了後、短時間、少人数に別れての交流会を開催。保護者にとって貴重な情報交換の場となった。

### 【中高生、大学等】

- 中高生：自由来館 遊戯室 土曜 13:30～16:00
- 中学校職場体験受け入れ：11/9～11 まで桜ヶ丘中職場体験3名
- ボランティア：常盤木学園高等学校音楽科生徒6名 「オータムコンサート」乳幼児親子対象
- ボランティア：神戸親和女子大3年生 9/13～14 乳幼児親子・児童クラブ対象

### 【各種企画行事の実施】

諸行事において、仙台市のガイドラインに即した計画書を作成した後、仙台市とやり取りを繰り返し、3密回避、換気、消毒・マスク着用、検温、体調管理などコロナ対策を講じ実施。

- 小学生対象：「小学生クリスマス会」12/25 出演者14名 参観者53名  
「小学生ハロウィンパレード」10/29。39名4グループに分かれて町内パレード。
- 児童クラブ対象：  
「SOATワークショップ」  
秘密の部屋：自分だけの水族館。額装絵画作成。7/25、9/14、10/5、10/19。  
東部市民センター（まつり）・宮城野区市民センター（みんないっしょの展覧会）での展示公開  
砂場ワークショップ：本館館庭 6/22、7/5、8/8。西田公園、小学校砂場で実施。  
坪沼神社自然体験：コロナ対策で定員を半分にしたことで参加者は抽選。全5回。  
ほたる鑑賞 6/19、24人。坪沼自然探検。  
「ロケットストーブ」製作 2基目自作完成。6/11。環境教育と食育教育に活かすために導入。
- 乳幼児親子対象：  
「オータムコンサート」演奏者：常盤木学園高等学校音楽科生徒6名  
ピアノ、マリンバの合奏とそれぞれの独奏、ピアノの四手連弾・八手連弾による演奏。  
乳幼児親子予約参加26組。2ステージに分散鑑賞（当日の自由来館は見合わせた。）

「乳幼児クリスマス会」：①0～1歳 12/15（29組）②2～3歳 12/17（25組）各2回に分散。  
ボンクラーズショー、フォトブース設置。

「産後ダンス」：月1回（NOKISHTAねっとメンバーで支援者が講師）

#### 【地域連携】

- ・新田連合町内会・新田住宅町内会・地域諸団体の諸行事・会議は継続して中止となっている。
- ・新田地区の子育て連絡会「NOKISHTAねっと」：7/5集会所にて開催。各団体の活動報告。情報交換19名14団体参加
- ・小学生ハロウィンパレード：3年ぶりに実施。地域商店・地域住民の協力により7か所の地域スポットを巡った。地域住民からの声かけ、プレゼントがあった。
- ・新田小学校と日常的に情報交換を行った。コロナ対応など、随時連絡を取り合った。小学校からの緊急時の一斉メールに、児童館からの伝達事項の配信を依頼した。小学校と関連機関・保護者と密に連絡を取りながら支援を要する子どもをサポートした。
- ・ほっこりサロンに民生委員の参加協力。
- ・新田よろこびの会へ上学年児童が作成したプレゼントを伝達。敬老の日とクリスマスの2回。  
12/14クリスマス：カード、6/10敬老祝い：コースター。後日敬老者に渡された。

#### 【安全・衛生関係】

- ・コロナ対策：仙台市のガイドラインに則り実施している。新田小との共同認識に基づく行動および連絡体制ができています。
- ・手指消毒液、ペーパータオル、蓋つき足踏み式ゴミ箱、定期交換玄関マットの常設。
- ・消毒リスト表に沿った定期及び随時の消毒作業。
- ・来館者（来館時チェックリスト）および職員の健康チェック（検温記録表）。
- ・職員室、保護者及び外部来館者との面談時の机にアクリル板の設置。
- ・館内の換気：全室とも常時窓を開放状態に、サーキュレーター・空気清浄機の設置・運転。
- ・光触媒によるコーティング：館内外（自動ドア、ドアノブ、手すり、トイレ、水回り、テーブル、ロッカー、椅子、事務機器等）、遊具、玩具等。
- ・夏場の高温対策：本館館庭にミストシャワーを設置、夏場は常時使用し体温調整に寄与。こまめな休憩と水分補給。夏休み中本館と各サテライトで水遊び時間を設定した。中庭に、人工芝を敷き、遮光ネットを設置し、活動場所の確保だけでなく、館内の良好な空気循環に寄与。
- ・不審者対応：仙台東警察署と新田防犯協会の協力を得て実施1/14（職員20名参加）。館内に侵入した不審者（警察官が扮する）を取り押さえる実地訓練。さすまたの使用方法、職員の連携など。
- ・防犯教室：仙台東警察署生活安全課・少年補導員による防犯教室開催40名。
- ・事故の防止：地域内の安全点検実施：職員との情報共有と東仙台交番との情報交換。警官巡回。  
館内外の安全点検の実施：施設・備品の管理チェック表。こまめな修繕措置。  
事故発生時の記録・職員の意識共有。
- ・訓練の日：毎月一回諸訓練を実施。訓練計画は本館及び各サテライト毎に計画。
- 「児童館だより」12回発行（毎月発行数：1,700部）町内会、小学校に配布している。
- 職員ヒアリング1回、職員面談1回
- 職員研修
  - ・法人研修：3回（榴岡、新田、成田小児童クラブ、成田東小児童クラブ職員対象）  
菅野顧問弁護士：6/15、6/23、6/24 苦情解決及び個人情報保護について講義&ワークショップ  
伊藤顧問労務士：6/28、7/7、7/15 就労・労働契約・社会保障・扶養・ハラスメントについて  
初任者合同研修会：勤続年数4年以下対象。10/13。  
「目指す児童像」「そのための手立て」について講義&グループワークショップ  
講師：齋藤純子代表理事、阿部清人副代表理事、小玉順子理事。
  - ・宮城県児童館・児童クラブ連絡協議会主催研修：定員減ではあるが年間実施となった。
  - ・仙台市主催：職員は全9回のうち、2年間で1回を受講する。  
オンラインによる受講併用であるため、他スタッフも共に聴講し共有と研鑽を図った。
  - ・児童館×東北造形作家を支援する会SOATによる研修：年度初めに実施した。
  - ・全国児童館児童クラブ宮城大会：11/7開催。職員の一般参加のみならず実行委員として参画。
  - ・「あそびの屋台」実行委員会発足：県児連主催。上記大会で未実施となった部分の具体化を進める。
- 職員ミーティング：毎月職員打ち合わせを開催、午後ミーティングは随時。館長会議。

## ■新田児童館利用状況（人数）

※ 乳幼児親子の児童館利用は、コロナ禍で9月まで9:00～12:00。

※ 小学生以上の自由来館は、コロナ禍で9月まで土曜日の13:30～16:00。

10月からは、乳幼児親子、小学生以上の自由来館ともに原則開館時間。

	R3.11～3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	年間計
幼児	905	125	167	217	161	82	276	224	2,157
児童クラブ	13,492	3,613	3,204	3,627	3,634	3,308	3,219	3,195	37,292
その他児童	123	40	0	31	34	17	19	38	352
中高生	15	4	9	9	11	13	5	4	70
一般	894	117	151	190	150	70	234	206	2,012
合計	15,429	3,899	3,581	4,074	3,990	3,490	3,753	3,667	41,883

## 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》	
<p>①コロナ禍による活動制限の中ではあったが、地域と利用者の皆様に安心して参加してもらえるような行事計画を進めてきた。また、感染症対策として毎日の消毒を行い、7月に光触媒コーティングを館内に施工し、利用者にとこれまで以上に安心・安全に利用してもらうことができたようにした。</p> <p>②児童クラブの4年生が地域最高齢者へ手作り花束をプレゼントし、とても喜ばれた。</p> <p>③地域の高齢者へ100枚のクリスマスカードを子どもが作成し、地域とのつながりをより深くできた。地域の皆様や児童の保護者からは児童館まつりの開催と一緒に盛り上げたいという声が多く、児童館への期待が高いことが窺える。</p> <p>④児童が度々不審な人物に声をかけられたことがあり、下校時とひとり帰りの際に通学路の巡視をして児童の安全に努めた。その後、地域の方と共に職員が仙台東警察署員から不審者対応訓練を受けた。</p> <p>⑤第17回全国児童館・児童クラブみやぎ大会の企画・実行委員として職員が3名、当日は殆どの職員が参加し研鑽を積んだ。オンライン開催であったが全国で900名を超える参加者があり、コロナ禍においても思いを繋げられることを実感した。</p> <p>⑥各行事においては参加人数の制限、消毒の徹底、マスク着用や常時換気など感染症対策をガイドラインに則り、仙台市と計画をやり取りして臨んだ。「親子夕涼み会」「ハロウィン」「クリスマス会」などは参加した幼児・児童の保護者に好評だった。常盤木学園音楽科の生徒6名によるオータムコンサートは参加した乳幼児の保護者がとても感動していた。</p> <p>⑦SOATとのワークショップの一つ「モザイクアート」では子ども同士で教え合い、作り上げたことで自主性と協調性、大きな達成感が育まれた。「坪沼自然体験」は5回行った。保護者からは参加して自信がついたこと、子どもとの会話が増えたこと等、子どもの内面的な成長だけでなく子育て支援にも繋げることができた。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置等の発令があったが、児童クラブに関しては、年間通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部は休止としていたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、「ハロウィン」を実施日や時間を分けて参加人数を増やしたり、バレーが難しいため館内で扮装した職員を探すなど内容を工夫して開催した。「クリスマス会」は児童の発表会として開催した。多くの児童が発表し自己発揮できる場・自己肯定感を感じる場となると共に、乳幼児親子や保護者が日頃の子ども達の様子や成長を知る機会となった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、保護者のニーズを受けて「だっこおんぶ講座」を開催したり、新たに「ほっこりサロン“じいじばあばと遊びのひろば”」として工作や季節のお楽しみなど様々な企画で毎月開催した。近隣の保育施設、民生委員や地域の支援者の方々の協力を得て開催するこれらの事業を通して、世代間交流を図ると共に地域が一体となって子育て家庭を支援する環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、SOATとの連携事業の「そあとの庭」で森林体験や遊び場作りなど多彩な自然体験を継続して実施し、子どもの豊かな育ちを促している。児童館便りに「はんざわさんの自然となかよし」の記事を毎月掲載して地域からも好評を得ており、記事をきっかけに保育施設との交流が始まるなど児童館事業の認知向上につながっている点が評価できる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、夏の時期にプール遊びができないため、コミュニティセンターや学校の協力を得ながら本館・サテライト共に水遊びの機会を設け、好評を得た。不審者情報がある際には、交番と連携を図り見回りを強化してもらったり職員が通学路の見守りをして児童の安全確保に努めた。</p>	S

**③ 富谷市立成田小学校児童クラブ運営受託**

- 受託期間：平成 29（2017）年 4 月～令和 6（2024）年 3 月（受託 6 年目）
- 所在地：富谷市立成田小学校敷地内隣接
- 開館日：日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く毎日
- 開館時間：月～金：学校放課後～18 時（延長登録者のみ 19 時）、土：8 時～18 時  
学校休業日：8 時～18 時（延長登録者のみ 19 時）
- 職員体制：統括兼室長 1 名、常勤職員 2 名、非常勤職員 8 名 アルバイト 1 名 計 12 名  
\*統括は成田東小学校児童クラブも担当。

## ■事業の実施状況

**【放課後児童クラブ運営】**

- 登録児童数：123 名（2022 年 4 月 1 日登録時）  
1 年 19 名 2 年 20 名 3 年 35 名 4 年 15 名 5 年 19 名 6 年 15 名
- 経験豊富なベテランを新職員に迎えた。新登録の子どもたちを迎え、気持ちがりフレッシュした。今年度は 2～6 年まで利用登録者も多い。また「さくらしすてむ」が導入されたので、入退所手続き等がスムーズに流れる。
- 子どもたちが児童クラブの生活に慣れはじめた。放課後の活動では、自立的に行動できる子とそうでない子との差が大きくなっている。特に 3 年生はギャングエイジとなり社会性が広がる時期だが、自分を中心とした行動から抜け出せない子どもが多い。職員の言葉に反抗的になる子どももいて、成長が順調ではない。子どもたちにミーティングやイベントを企画運営してもらい、貢献意識を高めるようにしていきたい。
- 令和 4 年度もコロナ禍を最優先した児童クラブ運営となった。3 密をあらゆる場面で回避するため、職員は子どもたちにいていい声かけを心がけた。あらゆる場面で気を緩めないように、これまで同様、気を遣い続けるように話した。成田小児童クラブでは室内収容可能人数の上限が低く、その過密状態を減らすために広い校庭や三丁目公園を使用し、屋外遊びの時間を多く取り入れた。子どもたち同士が密着しないようにするためには、何より子どもたちの自覚が必要だ。自覚が高まるように全体や個人に何度も話した。子どもたちがマナーを高めながら、徐々に行動ができる手応えを感じた。遊びも自分から気をつけながら行えるようになった。
- 子どもたちが児童クラブの生活を楽しくするためには、子ども自身が児童クラブ内で存在意義を高めることが大切。のびのびと考えやアイデアを話したり、他の人の話を聞いたりする自由な空気の中で、児童クラブとして自分で考えながら生活できる環境づくりを進める。
- コロナ禍がやや落ち着いてきた 7 月から、子どもたち同士が楽しく生活できる環境を作るために、多人数の学年ミーティングやイベントの実行委員会を開いた。簡単なイベントの企画・運営などを通して、個人の発想や実行力をいかし、「みんなが楽しめるような会」を実現し、ふり返しなどで自己有用感も高まらせることができた。これまでの子どもたちが作り上げてきた「成田の風」が復活し、子どもたちの高揚意識も高まった。さらに高いレベルのイベントを想定しながら、子どもたちと職員ががんばっている。児童クラブに数年在籍している上学年の子どもたちは、参画する喜びを下学年に伝えようとしている。
- 気になる子どもへの対応で、4 月から「ここねっと」の支援が入った。発達特性を理解するために「うさうさ脳」について説明を受けた。手の組み方、腕の組み方の二つで特徴が分かるとのことだった。子どもたちには肯定的に関わり、「ダメ」という言葉を使わないことも知った。小学校との連携を進めるように助言された。気になる子どもが多い現状なので、連携を深めていきたい。
- ヒマワリの苗床を作った。地域の方から電動耕耘機を借用したので、畝づくりも順調に進めることができた。子どもたちが興味を持って成長を見てくれるとうれしい。
- 接触状況票作成のために活動内容の把握などの事務作業が増えた。子どもたちの活動をしっかり記録するための方法を職員に再度周知した。また、マスクの常時着用、昼食時の座る場所、黙食を子どもたちに徹底するように指示した。子育て支援課長名の文書を、さくらしすてむメールで保護者に送信した。利用者が少数となり、夏休みの課題だった昼食場所の確保は必要なくなり、盆期間は児童クラブ施設で対応できた。
- 夏休みが終わり、子どもたちの生活も学校モードに戻った。夏休みはコロナ禍に気を遣い、緊張しながらの毎日だった。休みが終わってホッとしている。職員は夏休みに多くの時間を子どもたちと

接し、子どもたちのよさをいっそう理解した。

- ・9月の劇団ふたりのおはなし会。おはなし会が始まる前、子どもたちはかなりざわついていた。紙芝居の開始とほぼ同時にシーンと水を打った状態に近づいた。劇団ふたりのテクニックとパワーのすごさに驚かされた。声の威力はすごい。「ねこでしになったとら」で「ねこ」や「とら」の声の調子をふたりが絶妙に変えていた。音が重かったり軽かったり、速かったり遅かったり変化がめまぐるしくあった。聞いている子どもたちは、おだやかに世界に引き込まれていった。子どもたちの目と耳が紙芝居に集中していった。
- ・職員が子ども4名と1丁目方面のゴミ拾いに行った。想像以上にゴミがあった。ゴミを拾っているときに、近所のおじさんにほめていただいた。気にかけてくれる人がいるのはうれしい。
- ・子どもたちの発案で仮装をして町内のごみ拾いができた。子どもたちが計画し実行する形が復活した。コロナ禍以前の子どもたちの参画力を醸成していきたい。
- ・元気くん市場に子どもたちの作品を初めて展示してもらった。市場の方が児童クラブに作品を返しに来た。「また出してください」と依頼された。目標になる言葉だ。がんばりたい。

#### 【各種企画行事の実施】

- ・お楽しみ会：年3回（子どもたち・職員主催）、ゲーム大会など。
- ・外部講師による行事：おはなし会、防犯教室、新聞紙WS。
- ・（特活）東北の造形作家を支援する会によるワークショップの実施。  
砂場WS、パタパタモビールWS、坪沼WS（夏、秋）

#### 【安全・衛生関係】

- ・コロナ対策：手指消毒液の常置。体温測定。ペーパータオルホルダー、蓋つきゴミ箱の設置。  
定時及び随時の清掃・消毒作業。ソーシャルディスタンスの確保。光触媒施工。
- ・避難訓練：定期の訓練

#### 【地域連携】

- ・成田地区防犯協会の「安全教室」参加。11月26日（土）会場：成田小学校。
- ・子ども食堂との連携
- ・成田地区青少年健全育成連絡会への参加。

■とみや児童クラブ運営団体会議：毎月開催。

■職員ヒアリング：1回

■職員研修：法人主催4回。苦情解決、労務研修、SOAT美術研修、合同研修

富谷市放課後支援員研修会 講師：野澤令照氏 1回

「子ども同士のトラブルの対応策について」

\*成田児童クラブ独自研修：職員の児童理解、発達障害知識や観察力の向上を目的として実施。

- ・全国児童館児童クラブ宮城大会：11/7開催。職員の一般参加のみならず実行委員として参画。
- ・「あそびの屋台」実行委員会発足：県児連主催。実行委員会へ参画。全国大会で未実施となった部分の具体化を進める。

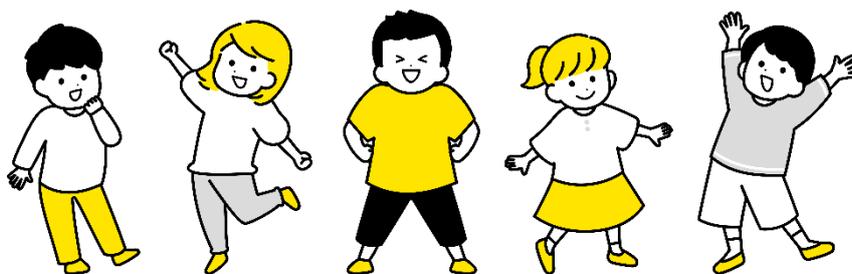
■スタッフ会議：毎月開催、打ち合わせは随時。

■成田小児童クラブ利用状況（人）

	R3.11~ R4.3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	年間計
1年生	977	216	275	303	235	149	252	245	2,652
2年生	1,693	194	208	245	210	129	182	23	2,884
3年生	519	350	294	334	319	250	251	280	2,597
4年生	738	114	90	98	101	76	86	105	1,408
5年生	111	156	122	143	120	70	103	105	930
6年生	0	34	15	18	33	22	13	14	149
(内土曜日)	81	28	25	24	28	13	20	32	251
合計	4,119	1,064	1,004	1,141	1,018	696	887	772	10,871

## ■今後へ向けて

- 職員打合せで、「子どもたちの障がいについて、児童クラブとして、どの程度把握しているのか？」の質問があった。現在「気になる子ども」が数多くいるので、関連しての疑問だと考えられる。残念ながら児童クラブで分かっていることはわずかで、保護者に提出してもらう児童状況票に記載されていることだけである。子どもの正しい様子が分かっていないと、児童クラブを利用してからの対応がとてまいへんになる。学校に入学し、児童クラブに入り、子どもたちは多くのことを学び、自分のことは自分でできるように成長していく。その伸び方は小学校入学以降に急速になるが、ソーシャルスキル、パブリックマナーがなかなか育たない、上級生になっても職員から1年生と同じレベルのことを言われるケースが多くある。職員も特性を十分に理解していないので、子どもを傷つけるようなことを言ってしまう場合もある。学年に応じた正常な発達になっていないことの原因には、コロナ禍の3年間もあるのではないかと考える。私たち職員の対応も難しいが、子どもが置かれているコロナ禍の現実と個々の特性をよく理解した対応を研鑽していくことが求められるのではないか。
- 9月に2年生ミーティングを行った。2年生の集団としての成長を感じることができた。最初は不満を訴える子どももいたが、次第に全員が積極的になっていた。最初の話し合いでは、宿題を頑張っている、友達への声掛けが優しい、学校で勉強を頑張っている、虫に詳しい等、相手に対する関心度が感じられた。中でも日頃、職員からは配慮が必要だと思われる子どもが、子どもたちの視点では注目している子どもとして映っており非常に驚かされた。同学年から自分の事を認めてもらえたことは、彼らにとってはこの上ない自己肯定感に繋がったと思う。その後、校庭で自分から発言しないとクリアできないゲームをした。2年生全員がゲームをクリアし達成感を得ることが出来た。中でも1年生に帽子を借りてくるという題目では、返す時にはきちんと言葉を添えることと条件を出した。すると借りた時は名字を知らなかったが、帽子に名前が書いてあったからと、子どもたちの中に発見があり、交流に繋がる場面が見られた。最後、全員に今日はイベントをやったから職員を理由に宿題はやらなくてもいいよ。やるかやらないかは自分で決めて欲しいと声掛けした。すると、2年生が全員ルームに戻り静かに宿題を始めた。時間が無くなったなど不満が出るかと思ったが、とても楽しかった。スッキリした。またやりたいと声が上がリ、子どもたちの成長を促すためにはこのような機会が積極的に必要だと感じた。
- 児童クラブではとても貴重な時間を毎日のように共有している。この共有時間を、もっと輝きのあふるものにできないかを日々考えている。
- 児童理解のため、学校との情報共有を強化する必要がある。また、児童理解と共に親の支援も必要と捉えている。子育て支援の側面もあり、孤立しないよう支えていきたい。保護者に寄り添っている常勤職員の存在は大きい。児童クラブだよりの発行に努めたい。



**④ 富谷市立成田東小学校児童クラブ運営受託**

- 受託期間：平成 29（2017）年 4 月～令和 6（2024）年 3 月（受託 6 年目）
- 所在地：富谷市立成田東小学校 校舎内 1F 5 教室
- 開館日：日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く毎日
- 開館時間：月～金：学校放課後～18 時（延長登録者のみ 19 時）、土：8 時～18 時  
学校休業日：8 時～18 時（延長登録者のみ 19 時）
- 職員体制：室長 1 名、常勤職員 1 名、非常勤職員 8 名、アルバイト 1 名、計 11 名。  
\*成田小学校児童クラブに統括を置き、成田東小学校児童クラブも担当している。
- 事業の実施状況

**【放課後児童クラブ運営】**

- ・登録児童数 77 名（2022 年 4 月 1 日登録時）。  
1 年 12 名 2 年 26 名 3 年 18 名 4 年 10 名 5 年 7 名 6 年 4 名 計 77 名
- ・子どもの好奇心や想像力・創造力を育てるような工作活動・遊び活動を行っている。季節行事も取り入れ生活に変化と潤いをもたせるように心がけている。
- ・子どもの体力向上と子ども同士の協調性を育み、ストレス発散のためにも運動遊びの促進を図っている。校庭での外遊びを習慣づけている。毎週水曜日には成田東小体育館を利用し運動あそびを行っている。雨天時には児童クラブ内のミニホールを使用。
- ・3 月『I CHI GO!! 祭り』は、子ども実行委員が企画運営を担い開催した。ポスター作成と告知、卒業する 6 年生への招待状、準備物の割り出しと支援員への協力依頼、実施の際は支援員と一緒に役割を担った。実行委員ではない子どもたちもゲームの進行係に手を挙げ皆が楽しく過ごせるよう動いた。実行委員のみならず子どもたちが積極的にイベント運営へ関わろうとする姿が見られ、参画力の高まりを感じる。子どもたちが行事に主体的に関わることは豊かな児童クラブ生活へ繋がると考える。今後も多くの子どもがより主体的にかかわる児童クラブを目指し、そのための職員の役割を探っていきたい。
- ・生活面では、日常を通してひとり一人の子どもに寄り添うことを心がけている。
- ・小学校の教頭を窓口として校長、担任や養護教諭と日常的に情報交換を行っている。児童クラブでの子どもたちの様子、配慮を要する子への具体的支援内容を伝え、共に取り組んでいくことを確認。
- ・今年度は特に新型コロナウイルス感染に関する情報交換を密に行った。学級閉鎖、学年閉鎖を行う際は学校から意見を求められた。そのことを児童クラブに持ち帰り、情報を共有し学校と歩みを一緒にして感染拡大防止に努めた。
- ・外部講師を招き、各種の企画行事を設定している。
- ・読み聞かせは、地域内の読み聞かせボランティアの『はらっぱ』、地域外の読み聞かせグループの『劇団ふたり』に来ていただいている。子ども達は月 1 回のこの読み聞かせを楽しみにしている。コロナ禍で来所できなかつたときは、職員が読み聞かせを買って出て行った。子どもたちに好評だった。
- ・SOAT（東北の造形作家を支援する会）によるワークショップを坪沼八幡神社で 2 回、児童クラブで 3 回、計 5 回実施した。坪沼では、普段体験できないロープを使っての崖下り、木登りやくぎ打ち、丸太切り、ターザンロープなどに積極的に取り組む姿が見られた。坪沼ワークショップは低学年を中心に 15 名前後で実施した。職員は何度が経験していることではあるが、低学年児童にとっては目新しいことで目を輝かせて取り組んでいた。この企画を楽しみにしている児童も結構いる。
- ・WS 活動の中で 5 年生の児童をキャプテンに任命し、リーダーシップを発揮してもらった。低学年児童生を前に、意欲的に活動に取り組み役割を成し遂げた。朝まで雨模様ではあったが、服が汚れるさつまいも苗植え活動もあったが、保護者から好感的な声が届いており理解が深まってきていると感じる。学校や児童クラブではできない自然体験で、子どもたちは笑顔がはじけ意欲的に活動している。
- ・保護者とは日常的に連絡帳のやり取りと迎え時の声掛けを大切にして、子どもの様子を共有するよう努めている。
- ・児童クラブだよりはさくらしすてむを使い毎月発行した。写真をふんだんに使い、活動の様子と毎月の予定を知らせた。
- ・お知らせやお願いなども定期的に発信し円滑な利用の一助となるようにした。

## 【各種企画行事の実施】

- ・作って遊ぼう（毎月）、体育館で遊ぼう（ほぼ毎週）、読み聞かせ（毎月）凧作りと凧揚げ大会、カルタ大会、節分豆まき、ひな祭り会、ICHIGO!!まつり、スポーツ大会、七夕飾りづくり、夏まつり、お月見会、クリスマス会、ドッチボール大会、謎解き宝探しゲーム。
- ・外部講師：砂場WS、お話し以外はコロナ禍でなかなか外部講師を活用できなかった。
- ・SOATによるワークショップ：坪沼八幡神社自然体験2回、砂場WSやランプシェード作りWSによる造形体験計3回。

## 【安全・衛生関係】

- ・コロナ対策：手指消毒液の常置。体温測定。ペーパータオルホルダー、蓋つきゴミ箱の設置。定時及び随時の清掃・消毒作業。光触媒抗菌処理。ソーシャルディスタンスの確保。
- ・避難訓練：定期の訓練の他、3/16深夜発生の地震を受け緊急時の職員の動きを再確認。  
アラート避難訓練初実施

## 【地域連携】

- ・防犯教室等：新型コロナウイルス感染拡大のため実施できなかった。
- ・成田東小学校：連携協力。  
情報交換会：随時
- ・成田地区青少年健全育成連絡会：総会は書面開催。情報交換会・講演会等は中止。

## ■職員ヒアリング：1回

## ■職員研修：法人主催3回

顧問弁護士 菅野 修氏による「苦情解決について」

顧問社労士 伊藤由美子氏による労務研修

新任職員研修会

富谷市・富児連共催1回

講師：野澤令照氏「子ども同士のトラブルの対応策について」

## ■スタッフ会議：隔週開催、打ち合わせは随時。

## ■成田東小児童クラブ利用状況（人）

	R3.11~ R4.3	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	年間計
1年生	1,576	137	140	165	155	132	133	122	2,560
2年生	1,145	309	308	319	297	261	273	211	3,123
3年生	639	222	191	212	234	162	190	193	2,043
4年生	513	93	100	103	80	66	71	58	1,084
5年生	256	71	53	58	56	51	47	47	639
6年生	18	28	24	30	26	16	14	15	171
(内土曜日)	10	3	20	4	10	3	3	3	56
合計	4,147	860	816	887	848	688	728	646	9,620

## ■今後へ向けて

- ・コロナ禍ということで、ここ2年実施できなかった「保護者懇談会」を開催した。児童クラブでの子どもたちの様子をたくさんの写真を使って説明した。のびのびと笑顔いっぱいの子どもの様子を見て安心する様子がうかがえた。懇談の中で、トラブルがあった際の具体的な解決法を知らせたり、保護者の願いや心配ごとなどを具体的に聞くことができ、信頼関係の醸成が図られたと思う。次年度は必要に応じて「個人面談」も実施したい。
- ・季節ごとの行事は、その都度職員がアイデアを出し合ったり、子どもたちの要望を受けたりして企画している。そのため同様の季節行事でもワンパターンにならずに実施でき、子どもたちにも好評である。子どもたちの運営参画も図ってはいるが、中心となる中・高学年児童のクラブ利用に偏りがあり十分な参画にはなっていない。
- ・外部講師による企画行事は、今年度は読み聞かせだけであった。成田地区防犯協会の方を講師とする防犯教室を計画したが、コロナ禍ということもあり中止せざるを得なかった。外部からの指導者は、子どもたちも適度な緊張感の中で活動でき好評であるので、機会をとらえて今後も実施していきたい。

- 子どもたちのトラブルは、ひとり一人に向き合いできるだけ話を聞き取るように心がけている。叱るのではなく、どうすればトラブルにならないかを考えさせるようにしている。また、当事者同士で話し合い、お互いが納得できる形でその日のうちに解決に結びつけられるようにした。
- 人とのかわり合いが苦手な強い子どもに対しては、指導や寄り添いが通じず苦慮しているところである。
- 行事へ子どもたちの運営参画を進める。事前の企画や準備にも進んで参加する意識を育てるよう今まで以上に仕掛けを多くして、子ども自身の発想を生かした行事・活動の設定を進めていきたい。現3年生の中に行事に積極的に関わろうとする児童が複数いるので声がけし、行事づくりに参画させていきたい。
- コロナ禍で地域と連携した行事を実施できなかった。次年度はぜひ開催したい。地域の民生児童委員を中心に、小学生の下校時間帯に犬の散歩や庭先でのあいさつ運動がなされているので、それをきっかけに交流活動を計画したい。
- 成田地区防犯協会と連携し、子どもの安全を守る活動に協力いただくと共に、児童クラブの役割や活動について知らせていく。
- 小学校との連携をより密にし、子どもたちをよりよく育てていきたい。昨年度学校と連携して不審者対応訓練を行ったが、学校も含めて当事者意識をより強く持つことができた。今後継続する。
- 保育所、幼稚園とも連携を進め、子どもたちへの理解を深め指導に活かす。
- 成田東小児童クラブとして、防災・防犯計画の見直しを進める。
- SOATによる自然体験&造形体験は、得難い体験活動として今後も継続していきたい。
- せんだい杜の子ども劇場による芸術鑑賞事業、子育て応援の各種プログラム事業についても、子どもの成長だけではなく保護者への支援の観点から広報活動を広く行っていく。



**(5) ネットワーク事業****① 仙台市内児童館連絡協議会**

仙台市の児童館指定管理者および事業受託者 12 団体で構成。指定管理の枠を超えてネットワークを構築し、児童館全体の質の向上と行政との市民協働による児童館事業の推進を目指している。昨年開催した全国児童館・児童クラブみやぎ大会で構築された市内児童館スタッフによるネットワークは長引くコロナ禍の中でも維持できている。3 月まで当法人代表理事が本会の代表を務めた。

**【定例会議】**

■実施日：11/19、12/17、1/21、3/9、4/22、5/20、6/17、7/15、9/16、10/21

■場所：榴岡児童館 分室

■参加団体数：12 団体

情報共有：各児童館の様子 消毒の状況、Jアラートや不審者対応などの訓練について。

協議：・コロナ禍での業務状況と利用者の様子について。

・コロナ陽性者が判明時の対応、報告、様式記入と学校との共有について。

・乳幼児親子&自由来館児童の土曜日利用の状況について。

・仙台市管理運営団体会議に向けての意見および提案。

・地域情報交換会、地域研修会の検討等について。

・処遇改善に伴う実務および課題について。

報告：・第 17 回全国児童館・児童クラブみやぎ大会について。

・R5 年度「遊びの屋台」実行委員会について。

・県児連の組織運営について。

**【県児連第 4 地区研修会および情報交換会】**

■実施日：10/27

■場所：仙台 YMCA

■内容：コロナ前と後での児童館事業について、日頃児童館業務の中核を担っている児童厚生員がコーディネータとパネリストになり児童館の行事の効果等を出し合った。その後、グループトークとなったが手作りサイコロでトーク内容を決めるなど話しやすい雰囲気づくりにも気遣いを見せた。スタッフのモチベーションアップのために実施したが、参加者からの評価はかなり高かった。

■R3 年度の情報交換会はコロナ感染拡大による状況のため実施直前に中止とした。

**【第 17 回全国児童館・児童クラブ みやぎ大会への参画】**

■実施日：11/1（決起集会）、11/6、11/7

■場所：東京エレクトロンホール宮城

■参加者：指定管理団体&受託団体、各児童館職員からなるスタッフ（当日運営および分科会担当）

**② 宮城県児童館・児童クラブ連絡協議会**

宮城県内の児童館・児童クラブおよびその指定管理者と運営受託者によって組織され、県内の連携と活動の向上を目指している。外部理事が参画した理事会機能は、昨年 11 月に開催した全国児童館・児童クラブみやぎ大会でネットワーク力と発信力が発揮され、過去の大会にはなかった福祉と教育の融合による児童館・児童クラブの在り方を全国へ発信できた。行政との協働による大会運営は評価に値する。

**【通常総会】**

■実施日：4/27

■場所：仙台市シルバーセンター

■参加館数：81 館。（197 館中）

■議案：・第 1 号議案令和 3 年度事業実施報告

・第 2 号議案令和 3 年度収支決算報告

・第 3 号議案令和 4 年度事業計画

・第 4 号議案令和 4 年度収支予算

資料：地域区分表及び科目区分表

・令和 4 年度役員名簿

- ・令和4年度地域代表委員会名簿
- ・令和4年度地域会役員名簿

#### 【理事会（みやぎ大会の実行委員会・企画・運営委員含む）】

- 実施日：11/1、11/6、11/7、1/12、1/24、3/3、3/29、4/13、4/14、6/7、7/6、9/29
- 場所：仙台市生涯学習支援センター・仙台市福祉プラザ・仙台市福祉プラザ
- 参加：理事、実行委員会、全国大会スタッフ（全体および分科会担当者）

#### 【第17回全国児童館・児童クラブみやぎ大会】

全国の児童館・児童クラブ職員が児童健全育成事業を推進するために、自主的な研究協議と交流の場を設け、自らの意識と資質の向上を図ることを目的として開催している全国大会を、今年は「東日本大震災から10年。そして、つながる未来へ。」のコンセプトで被災地であった宮城から「第17回全国児童館・児童クラブみやぎ大会」として開催。

- 実施日：(11/1 決起集会)、11/6、11/7。2日間ともオンライン開催。
- 場所：東京エレクトロンホール宮城
- 参加人数：参加者850名、スタッフ&関係者総勢200名

#### 【児童館職員等研修会】

「科学あそびを楽しもう」

科学的な要素のある遊びの基本的展開法とその応用を体験的に学ぶ。

- 実施日：11/30
- 場所：仙台市生涯学習支援センター
- 講師：副代表理事 阿部 清人 氏(サイエンスインストラクター)

### ③子どもの放課後支援をすすめる会

仙台市内で子どもの放課後事業に携わる児童館・放課後児童ディ・放課後子ども教室と民間の児童クラブ等が組織し、子どもがインクルーシブに放課後を過ごすことができる環境の推進を目指している。事務局は（認特）アフタースクールぱるけ内に置く。年間の役員会はすべてリモート会議となった。今後の組織運営については、現在従事している若者層を交えて研修会や情報交換会へのニーズ把握と実施に向けスタッフ会を設置する。

#### 【通常総会】

- 議案：
  - ・第1号議案 令和3年度事業実施報告及び決算報告
  - ・第2号議案 会則の変更について
  - ・第3号議案 令和4年度幹事選任について
  - ・第4号議案 令和4年度事業計画及び予算の審議及び決定
  - ・第5号議案 その他

■実施日：7/4

■場所：役員は福祉プラザ、会員はオンラインによる参加。

■継続会員についてはコロナ禍により研修等が出来なかった理由で今年度の会費は徴収しない。

#### 【「子どもの放課後支援をすすめる会」による3局長表敬訪問】

■実施日：11/15

■場所：仙台市教育局

■参加者

健康福祉局：加藤邦治局長、西崎文雄障害福祉部長、高橋聡障害者支援課長

子供未来局：小林弘美局長、宮野憲子子供育成部長、三井悦弘児童クラブ事業推進室長

教育局：福田洋之教育長、筒井幸子生涯学習部長、田中富男生涯学習課長

■内容：
 

- ・会の運営や活動に対する担当三部局の支援協力への御礼。

- ・令和2年度仙台市放課後支援事業所の新型コロナウイルスの影響の実態調査結果について。
- ・コロナ禍で、事業運営・継続していく上での課題と今後についての意見と要望。(10/29の情報交換会から抽出)。
- ・学校の幼・保連携へ児童館を含むことの提言。
- ・行政とのフォーラム開催について

【研修会】今年度は中止。

**④ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会**

子どもたちの社会参画体験や遊びを通じて、子ども同士の育ちの輪をはぐくむことを目的とする。七北田中学校区内の地域・市民団体・NPO・企業が企画運営することで、ネットワークを形成し地域力を高めることを目指す。

- 実施日：12/7、2/22、7/5、9/6、10/27
- 場所：泉区中央市民センター/Zoom ハイブリッド開催
- 協議・報告：
  - ・「あそびの天国 2022」について
  - ・小学生&ジュニアリーダーとの交流
  - ・「ざわざわ森」参加報告
  - ・動画視聴『感染対策を講じて実施した子ども主体の事業例の紹介』等

**⑤みやぎの区民協議会**

区民一人ひとりの創意と参加により、やすらぎと希望をともに感じることができる宮城野区をつくることを目的とし、宮城野区のまちづくり運動の実践並びに実践団体及び市民の活動促進事業、宮城野区のまちづくりに関する広報活動等を行う。この目的に賛同する区を中心として活動する各種団体をもって構成されている。(特定の政治活動や宗教活動または営利を目的とした団体は対象としない。)

**【みやぎの区民協議会総会】**

- 実施日：5/26
- 場所：宮城野区役所

**【みやぎの区民協議会企画委員会】**

- 実施日：11/16、11/29、12/15、1/25、3/16、5/10、6/8
- 場所：宮城野区中央市民センター・宮城野区役所

**【みやぎの・まつり役員会・実行委員会・ちよっとのそいてみま専科説明会】**

- みやぎの・まつり企画実行、ちよっとのそいてみま専科コーナー参加団体への説明会
- 実施日：役員会：3/23、8/4、9/30
  - 実行委員会：4/27、6/16、8/22、10/5
  - ちよっとのそいてみま専科：9/8、10/3、10/31
  - 場所：宮城野区役所、宮城野区中央市民センター

**【第13回みやぎの大縁会】**

- 宮城野区の地域づくりについて“ざっくばらんに”語り合い、“ご縁”をつくる会。  
「今昔みやぎの・アーカイブ～『過去』『現在』『未来』の宮城野区を語ろう～」
- 実施日：3/5
  - 場所：宮城野区中央市民センター
  - 参加人数：27名

**【コロナ禍におけるイベント開催時に必要な感染症対策研修】**

- 東北医科薬科大学病院より講師を招き、コロナ禍でのイベント開催に必要な感染症対策に関する研修会。
- 実施日：7/7
  - 場所：宮城野区文化センター
  - 参加人数：200名

**【令和4年度納涼名刺交換会】**

- 宮城野区内の各種団体や企業が集まり親交を深める場。
- 実施日：7/13であったが中止。

**【シンポジウム代替案】**

- 宮城野区のまちづくりに役立つテーマを取り上げ、区民の学習及び交流を図る。  
「小中学生向けパラスポーツ・キャップハンディ体験会」
- 実施日：8/19であったが中止。

**【令和4年度みやぎの・まつり】**

宮城野区民が地域や世代を超えて相互の交流を深め、連帯意識やふるさと意識を高めるとともに、

新たな出会いやコミュニケーションの輪を広げながら、宮城野区らしさの追求と体现を図り、宮城野区民としての意識と区に対する愛着を高めることを目的に、区を挙げて区民手作りによるまつりを実施する。今年度は、コロナ禍で3年ぶりの開催となり、会場内での飲食の禁止など感染対策に重点がおかれたまつりとなった。残念ながら当法人は参加を見送った。

■実施日：10/16

■場所：榴岡公園芝生広場

■参加人数：約10,000名

### ⑥はっぴい子育てプロジェクト（宮城野区）

市内でも子育て世代の多い宮城野区で、子育てを支える団体が区役所と協働し子育ての楽しさを実感出来る場を提供。地域との繋がりを深めながら育児不安や孤立した育児を少しでも解消し、明るい育児期の支援を目的とする。

コロナ禍となりワークショップについてはスタッフや参加者人数を制限するなど開催方法を工夫した。また手遊び動画の配信に力を注いだ。

#### 【ママらいい手帳の作成】

子育て中でも自分自身を見失わないための仕掛けと子育て支援情報を包括した手帳の作成。

年間3000部を印刷した。

#### 【ママらいい手帳活用事業】

手帳は手作りおもちゃ付きで新生児訪問や転入時に配布。手帳を活用したワークショップの開催、HPや動画による情報発信。

■実施日：6/22、7/11、7/14、7/22

■場所：新田児童館さくらんぼひろば&いちごひろば内、榴岡児童館おしゃべりひろばぴっころ内、岩切あおぞら保育園。

■参加人数：各回10名以内。

この他に高砂保育園、のびすくみやぎの、岩切児童館で実施した。

#### 【部会の開催】

事業の企画、検討、運営。

■実施日：11/15、1/13、2/7、3/10 6/30

■場所：宮城野区役所、宮城野中央市民センター、リモート会議

■参加人数：各回10~12名

### ⑦子育て応援倶楽部いずみん（泉区）

支援者同士がつながることでお互いが充実し、それによって親子が適切な支援に結びつくことを目指して活動している。コロナ禍の中、つながりを途絶えさせないように議論を重ねてきたが、R4年度初回の全体会は対面で集まることができ、ワールドカフェ風の形式でコロナ禍の中での活動について情報共有と意見交換を行うことができた。10月の情報交換会は非公開ではあったが、親子と参加団体が交流することができた。

#### 【三役会議】

■実施日：11/16、1/12、6/3

#### 【全体会】

■実施日 3/2：令和3年度第2回子育て応援倶楽部いずみん全体会は延期

8/2：令和4年度第1回子育て応援倶楽部いずみん全体会&交流会

(終了後、情報交換会実施、内容検討会議)

■場所：泉区役所東庁舎二階健康教育室

#### 【情報交換会】

■実施日：10/26 R4年度子育て応援倶楽部いずみん参加団体による情報交換会。

■場所：七北田公園体育館

■参加人数：39名(うち親子23名いずみん参加団体13名事務局3名)

### ⑧とみや児童クラブ連絡協議会

富谷市内の8児童クラブを運営受託した4団体で組織。富谷市児童クラブの向上を行政との協働で目指してきた。

- 構成団体：(特活)虹の架け橋、(特活)仙台YMCAファミリーセンター  
(株)アンフィニ(特活)せんだい杜の子ども劇場
- 役員：会長：齋藤純子、副会長：村井伸夫(YMCA)、事務局長：石戸(虹の架け橋)

#### 【定例会】

- 実施日：12/10、1/17、2/10、3/16、4/18、5/16、6/13、7/13、9/26、10/17

- ・富谷市との協議事項について。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について
- ・合同研修について検討
- ・児童クラブ運営上の課題等の整理と検討
- ・支援を要する児童の受け入れについて
- ・職員の処遇改善について
- ・児童クラブサテライト室について
- ・児童クラブ申請書&利用の手引きを
- ・富谷市とのワーキング会議：8/5、8/24、9/24、10/26

- 場所：明石台小学校児童クラブ、富谷小学校児童クラブ

#### 【合同研修会】

富谷市との共催で実施。

講師：宮城教育大学教職大学院特任教授 野澤 令照氏。

- 内容：「子ども同士のトラブルの対応策を学ぶ」

- 実施日：7/14

- 場所：富谷市総合運動公園 武道館会議室

- 参加人数：80名



### ⑨成田地区青少年健全育成連絡会

成田中学校区内に居住する青少年の健全育成を願い、明るい環境づくりの推進を目的とする。成田中、成田小、成田東小、PTA、富谷高等学校、子供会育成会、町内会、および趣旨に賛同する団体で組織し、成田地区の防犯や交通安全、子どもを守る意識の共有、地区内の現状を把握しネットワークを強化してきた。夏休み期間中に、啓発事業「明るいまちづくり」ポスター・標語コンクールを募集した。行事は今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため殆どが中止や縮小開催で行なった。

- 役員会：11/11、2/17、5/12、6/9、9/1
- 情報交換会：12/9であったが中止。
- 成田地区青少年健全育成連絡会総会：5/19(書面表決)
- 夏季休業中の巡視活動：8/4(縮小して行なった)
- 「秋の講演会」：9/15であったが中止。



## 【2】(1)石巻地区での「杜の子まつり No.10」

芸術や体験活動を通して心の復興を応援する目的で、東日本大震災発災年度より開催してきた「杜の子まつり in 石巻」を実施する準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染が拡大してきたため家族が参加するワークショップと芸術鑑賞は延期とした。この被災地支援事業のもう一つの柱であるジュニアリーダー(以下 JL)の研修&交流は、関係者のみ参加の上で実施した。

一般開催は延期としたものの、コロナ禍で開催できずにいた JL の研修&交流は関係機関の理解と協力により3年ぶりに行うことが出来た。

当日の研修&交流は石巻市内、東松島市内、仙台市内から25名のJLと仙台市シニアリーダー&OBの5名が参加、計46名(行政担当者とスタッフ含む)で実施した。午前は身体表現ワークショップを、午後は防災エンスショーで、JLが今後の要請に活かすことが出来る実験や延期した鑑賞会を想定した誘導・バックヤードツアーの補助などを体験し、舞台搬入から搬出まで研修として関わった。また、仙台市JLは「もぐらたたき」を、東松島市JLと仙台市シニアはアイスブレイクを互いに教えあい、楽しみながら交流を深めていた。

実施後のアンケートではJL全員から「研修交流を続けたい」との回答があり、「他のジュニアの良い面を吸収することができた」「実になる一日だった」「震災当時のJLのように、環境に負けないで進み続けるJLになりたい」等、研修&交流を通して気づきや学びがあったという回答が並んだ。

■実施日：9/18(日)

■場所：マルホンまきあーとテラス 大ホール、大研修室他

■参加人数：46名(石巻市教委、仙台市生涯学習支援センター担当職員とスタッフ含む)

■今後に向けて：今年度の開催では、石巻および仙台市教委の担当者の協力があり、JLは地域を超えて仲間と先輩の姿を感じながら研修&交流を行うことが出来た。一方で、初めて使用する会場での導線設定等が甘かった。一般参加を受け入れる本番では各種ガイドラインに則し、入退場時の人の流れが停滞しないよう備えたい。



## 【3】(1)宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」によるママパラインの寄付を募る。(目標額は40万)

地域課題を解決するためにテーマや使い道を明確にし、寄付者が判断・評価して主体的に募金する「テーマ募金・使途選択募金」として宮城県共同募金会が実施する「みやぎチャレンジプロジェクト」にエントリーできた。子育て中の親たちの孤立化を解決するために、ママパライン仙台の活動が必要であることを広く県民に呼びかけ募金の協力をお願いした。当法人会員や支援者が直接家族や知り合いに声掛けし多くの方から募金が届き、更に共同募金会からの助成が加算された。募金額は目標額には届かなかったもののコロナ禍の中にも拘らず市民からの寄付として大変ありがたい。2022年4月からの本ラインの維持に活用している。

■実施日：R3年12/1(水)～R4年2/28(月)の3ヶ月間。

■募金方法：専用の振込用紙を使って郵便局から振り込んでもらう。または、共同募金会のHPでクレジット決済。

■募金実績額：348,046円 助成決定額：591,000円

■募金件数：62件

## 【4】組織運営

### (1) 2年後の組織体系等を考えるプロジェクト会議を開催

代表理事と事務局長へのヒアリングを行った。その後、プロジェクトメンバーの勤務時間帯の都合を調整し長期休み以外の午前中にオンラインでの実施を想定したが、担当理事と児童館スタッフメンバーのスケジュール調整が難しく、会議の実施に至らなかった。以降、計画的に進めていきたい。

### (2) 事務局体制の強化

■職員の役割分担：事務局スタッフを1名増員でき4名体制で対応できた1年だったが、今年度末に1名が退職となった。(1)にも関連するが、事務局に限らず指定管理や受託事業も含めてスタッフの異動や体制を考える必要がある。

コロナ禍でせん社本体の事業ができない中ではあるが、報告及び提出作業が増え対応に追われた点も多く児童館及び児童クラブ運営に追われた。

事業の中止や縮小等があった中で「子育て応援講座」「杜の子まつり」等の申込みやチケットの配券方法、オンラインでの会議や打ち合わせ方法を模索しながら進めることができた。

代表理事と事務局スタッフによる事務局会議を定期的で開催した。事務局長補佐という役職を設けたことで役割の明瞭化と実務のスキルがアップし事務局内が安定してきた。HPのリニューアルに向けて原案を作成中である。

■スキルアップ：事務局として法人全体の理解を深めるため、これまで以上に学ぶ意識を持ってもらった。他団体の実務会議には事務局長のほか事務局長補佐に出席してもらった。

「ネット・ゲーム依存傾向の子どもへのアプローチ研修会」(埼玉)6/5、「情報セキュリティー研修」9/27、「福祉教育学習会」(オンライン)9/27等へ参加。この他、法人職員向けの「個人情報保護および苦情解決」「労務研修」「初任者研修」へ参加。児童館職員の合同勉強会、不審者対応訓練、子育て支援行事へ参加。(認特)杜の伝言板ゆるる総会や高校性夏ボラ事前学習会、宮城県共同募金会のチャレンジプロジェクト打ち合わせ等参加。

### (3) 雇用について検討する

■就業規則の一部改定：就業規則の一部改定はできなかったが、代表理事及び事務局長が顧問社会保険労務士と定期会議を行い、現在たたき台を作成してもらっている。

■常勤および非常勤職員の処遇について：児童館および児童クラブは慢性的なスタッフ不足。求人募集の効果がなく、有効な解決策が無かった。国の処遇改善事業により、職員の給与はUPしているが扶養の範囲内勤務を希望する非常勤職員が多く、日々の勤務時間短縮や休みを多くせざるを得ないなど調整に苦慮している。常勤職員の負担が増えている。顧問弁護士&社会保険労務士に相談しながら、働き手も雇い手もWINWINになるよう検討していきたい。



## 【5】 総会・理事会

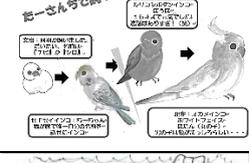
<p><b>第16回 通常総会</b> (期間：2020年11月1日～2021年10月31日)</p> <p>日時 2021年12月19日(日) 14:00 場所 日立システムズホール仙台 エッグホール 出席者数 28名(委任状16名・書面表決2名含) (正会員数 32名)</p> <p>議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1号議案 2021年度事業報告</li> <li>第2号議案 2021年度収支決算報告</li> <li>第3号議案 監査報告</li> <li>第4号議案 2022年度事業計画(案)</li> <li>第5号議案 2022年度収支予算(案)</li> <li>第6号議案 役員任期満了につき改選</li> </ul>	<p><b>■第139回</b> <b>2021年11月13日(土) 18:00～21:00</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事務所移転完了の件</li> <li>② 児童館&amp;児童クラブ状況</li> <li>③ R3年度事業計の振り返り&amp;決算の見込み→R4事業計画へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営業務</li> <li>・本体事業</li> <li>・次期組織体制づくり</li> <li>・決算→予算の考え方</li> </ul> </li> <li>④ 全国児童館・児童クラブみやぎ大会について</li> <li>⑤ ママパパラインについて</li> <li>⑥ その他</li> </ul>
<p><b>■第140回</b> <b>2020年11月27日(土) 18:30～21:30</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童館&amp;児童クラブ状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員募集…来期募集について</li> <li>・榴岡&amp;新田の勉強会について</li> <li>・不審者対応(訓練、マニュアル等について)</li> </ul> </li> <li>② R3年度事業計の振り返り&amp;決算の見込み→R4事業計画へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営業務</li> <li>・本体事業</li> <li>・次期組織体制づくり</li> <li>・決算→予算の考え方</li> </ul> </li> <li>③ 全国児童館・児童クラブみやぎ大会について</li> <li>④ ママパパラインについて</li> <li>⑤ その他</li> </ul>	<p><b>■第141回</b> <b>2020年12月4日(土) 18:30～20:40</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 2022年度事業計画案について</li> <li>② 定期総会までのスケジュール <ul style="list-style-type: none"> <li>・監査日程</li> <li>・資料作成、資料印刷、発送</li> <li>・委任状</li> </ul> </li> <li>③ 総会当日の役割分担</li> <li>④ その他</li> </ul>
<p><b>■第142回</b> <b>2021年12月19日(土) 17:10～17:30</b> (通常総会終了後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 代表理事及び副代表理事の選定について</li> </ul> 	<p><b>■第143回</b> <b>2022年2月5日(土) 18:00～21:30</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童館&amp;児童クラブにおけるコロナ対応状況について</li> <li>② 児童館で陽性者・濃厚接触者が発生した場合の対応について <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの報告</li> <li>・今後→指定管理団体がなすべきこと</li> </ul> </li> <li>③ 2022年度事業計画より <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ママパパライン</li> <li>2. 組織運営</li> <li>3. 「杜の子まつり in 石巻」、鑑賞会について</li> </ol> </li> <li>④ 児童館および児童クラブ職員の体制について</li> <li>⑤ 国の施策に伴うR3&amp;R4の処遇改善について</li> </ul>

## 【5】 総会・理事会

<p>■第 144 回 2022 年 3 月 12 日（土） 19:00～22:00</p> <p>① 児童館&amp;児童クラブの状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R4 年度児童クラブ保護者説明</li> <li>・ 成田&amp;成田東児童クラブ光触媒コーティング</li> <li>・ R4 年度待機児童</li> </ul> <p>② 処遇改善と期末手当支給について</p> <p>③ 2022 年度事業計画より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ママパパライン</li> <li>・ 組織運営</li> <li>・ 「杜の子まつり in 石巻」 &amp; 鑑賞会について</li> </ul> <p>④ 児童館及び児童クラブ職員の体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各現場の体制</li> <li>・ 現職員の R4 雇用契約の内容確認</li> <li>・ 新規職員の確保</li> </ul>	<p>■第 145 回 2022 年 7 月 2 日（土） 18:30～20:30</p> <p>① 児童館&amp;児童クラブの状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状について</li> <li>・ 職員不足！</li> <li>・ 夏休み中の人員確保→学生アルバイト、理事のサポート</li> </ul> <p>② 2022 年度事業計画より</p> <p>「杜の子まつり in 石巻」 &amp; 鑑賞会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進捗状況</li> <li>・ 検討事項 チケットシステム、当日運営、コロナ対応</li> </ul> <p>③ その他</p>
<p>■第 146 回 2022 年 9 月 8 日（土） 19:00～21:00</p> <p>① 児童館&amp;児童クラブの状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏休み中&amp;現状</li> <li>・ 職員不足！</li> <li>・ 全体の様子</li> <li>・ 新田地域連絡会</li> </ul> <p>② 「杜の子まつり in 石巻」 の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの進捗状況とコロナ感染拡大の状況</li> <li>・ 開催の有無</li> </ul> <p>③ その他</p>	<p>■第 147 回 2022 年 10 月 29 日（土） 18:30～21:30</p> <p>① 児童館&amp;児童クラブの状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 現場の様子から</li> <li>・ 職員合同研修会</li> <li>・ 職員ヒアリングから</li> <li>・ 職員採用</li> <li>・ 新田地域連絡会</li> </ul> <p>② 「杜の子まつり in 石巻」 の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジュニアリーダー講習&amp;交流のみを実施</li> <li>・ 次回に活かせること</li> </ul> <p>③ 2022 年度通常総会に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度の総括 事業計画→進捗状況→結果 芸術鑑賞、子どもの体験、子育て支援、指定管理・受託、ネットワーク</li> <li>・ 決算状況</li> </ul> <p>④ ママパパライン&amp;子育て応援講座</p> <p>⑤ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局の状況</li> </ul>

## 【6】 広報紙発行

- 配布対象 会員、宮城県・仙台市の子どもに関わる行政部署、民間の子育て支援活動団体、当団体を支援する個人及び団体。
- 発行頻度 毎月発行。(毎月の表紙は、会員及び支援者、子どもによる手描きのイラストを掲載)
- 発行部数 480部。
- 内容 表紙イラスト、巻頭文、事業案内や報告、はいママパライン仙台です、児童館☆NEWS・児童クラブ☆NEWS、せん杜のうごき、ピックアップ情報、おうち時間アレコレ、事務局より 等。

	<p>vol.232 2021.11.1 発行 8ページ            巻頭文：「いよいよ発足！コミスクへの道のり」            寺岡小中学校コミュニティ・スクール準備委員会 原田 真夫            イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンの贈呈、他</p>
	<p>vol.233 2021.12.1 発行 10ページ            巻頭文：「東日本大震災から10年を振り返ってにじいろクレヨンの活動を通して」            特定非営利活動法人 にじいろクレヨン 理事長 柴田 滋紀            みやぎチャレンジプロジェクトの募金、ちょこタイムつうしん『みやぎの・まつり』            をWEBサイトで公開しています、震災から10年『つながり』が実を結んだ全国児童            館児童クラブみやぎ大会、他</p>
	<p>vol.234 2022.1.1 発行 10ページ            巻頭文：「2022年新たな一歩を踏み出す寅になろう」            特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場 齋藤 純子            2021年度第16回定期総会報告、ちょこタイムつうしん、他</p>
	<p>vol.235 2022.2.1 発行 8ページ            巻頭文：「ママパラインは、今年で20年になりました！」            (特活) 子どもNPO・子ども劇場全国センター 中村 雪江            子育て応援講座スキルアップ編報告、他</p>
	<p>vol.236 2022.3.1 発行 8ページ            巻頭文：子どもの「やってみたい」を大切に作る児童館“らいつ”            石巻市子どもセンターらいつ副館長/            NPO法人子どもにやさしいまちづくり代表理事 吉川 恭平            児童館・児童クラブ職員募集!、「ママパライン全国キャンペーン」が終了、他</p>
	<p>vol.237 2022.4.1 発行 8ページ            巻頭文：「普段の子カラ」            仙台市地域防災リーダー(SBL) 仙台社会学級研究会会長 若生 彩            「ママパライン全国研修・交流会」参加者感想、メロンパントースト作り、他</p>
	<p>vol.238 2022.5.1 発行 8ページ            巻頭文：「いつも隣に〜切れ目ない子育て支援を目指して」            子育て応援倶楽部いずみん 部長 日野 桃子            みやぎチャレンジプロジェクトの募金/イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン            (御礼と報告)、ちょこタイムつうしん、他</p>
	<p>vol.239 2022.6.1 発行 10ページ            巻頭文：「子どもがまんなかは幸せな学校と地域づくりの合言葉」            前長野県池田町教育長 こともまんなクラブ 代表 竹内 延彦            令和4年度職員紹介、ママパライン仙台「2021年度のまとめ」、他</p>
	<p>vol.240 2022.7.1 発行 8ページ            巻頭文：「地域と子どもに必要な不易流行の考え方」 大崎市議会議員 小玉 仁志            「ネット・ゲーム依存傾向の子どもへのアプローチ研修会〜今後、学校で求められる            ネット依存問題予防教育への提起〜」報告、ママパライン仙台2022年度活動            予定</p>
	<p>vol.241 2022.8.1 発行 8ページ            巻頭文：「子どもにとっては地元だから〜そして、つなげた14年〜」            新田学区連合町内会 SBL(せんだい地域防災リーダー)協議会会長新田 mama*café            つなげる子育て〜えん〜言い出しっぺ 代表 眞野 美加            ちょこタイムつうしん、ひらひらおびれの紙皿工作、他</p>
	<p>vol.242 2022.9.1 発行 8ページ            巻頭文：「新たな気付きの起点となる「まち」 榴岡」            仙台市立榴岡小学校元校長 宮城教育大学教職大学院 特任教授 猪股 亮文            3年ぶりに「みやぎの・まつり」が開催されます、他</p>
	<p>vol.243 2022.10.1 発行 8ページ            巻頭文：「空気と社会教育」 東北学院大学教養学部 教授 原 義彦            会員募集と会員更新のお知らせ、「子育て応援講座」のご案内、「杜の子まつり in 石            巻」ジュニアリーダー研修&amp;交流会報告、他</p>

## 【7】各種委員会・講師派遣等

### ■委員等委嘱 / 委員会名

(財)宮城県文化振興財団助成金審査会	公益財団法人宮城県文化振興財団
宮城野区まちづくり事業評価・選考委員会	仙台市
仙台市発達障害児者支援地域協議会	仙台市
仙台市自分づくり教育研究会	仙台市教育委員会
(財)仙台市男女共同参画財団理事会	仙台市男女共同参画財団
(社福)宮城県ボランティア総合センター運営委員会	宮城県社会福祉協議会
宮城県文化芸術振興審議会	宮城県
寺岡小学校 学校運営協議会	仙台市教育委員会
七北田小学校 学校運営協議会	仙台市教育委員会
宮城野区社会福祉協議会	仙台市社会福祉協議会
泉区社会福祉協議会	仙台市社会福祉協議会

### ■委員会・実行委員会名

泉区内学びのコミュニティ連絡会	泉区中央市民センター
ふれあい学びネットいずみ推進委員会	泉区中央市民センター
仙台市内児童館連絡協議会	仙台市内
子どもの放課後支援をすすめる会代表幹事	仙台市内
(特活)子どもNPO・子ども劇場全国センター監事	全国
ママパパラインプロジェクト会議	全国
みやぎの・まつり 実行委員会/企画委員会	宮城野区
みやぎの区民協議会 理事会/企画委員会	宮城野区
みやぎの区民協議会子育て支援部会「はっぴい」	宮城野区
子育て応援倶楽部「いずみん」	泉区
榴岡小学校地域教育協議会	仙台市立榴岡小学校 学校支援地域本部
市名坂小学校地域教育協議会	仙台市立市名坂小学校 学校支援地域本部
楽天 FM 番組審議会	楽天野球団
宮城県児童館・児童クラブ連絡協議会理事会	宮城県内
全国児童館・児童クラブみやぎ大会実行委員会	県児連・児童健全育成推進財団等3者共催
とみや児童クラブ連絡協議会	富谷市児童クラブ受託4団体
(特活)自閉症ピアリングセンターここねっと理事会	(特活)自閉症ピアリングセンターここねっと
(認特)アフタースクールぱるけ理事会	(認特)アフタースクールぱるけ

### ■主な講師派遣 / 講師派遣先・取材など

宮城県児童館・児童クラブ理事会リトリートのファシリテーション (小玉順子理事)	宮城県児童館・児童クラブ主催研修会講師 阿部清人副代表理事
宮城野区家庭健康課主催子育て支援者研修講師 斎藤純子代表理事	仙台市教委社会教育委員4名によるヒアリング